

1. 件名：北陸電力（株）志賀原子力発電所 2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年10月30日(月) 10時30分～13時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

海田主任安全審査官、岩崎安全審査官、宮脇安全審査専門職、

原田安全審査専門職、大井安全審査専門職、

同 技術基盤グループ 地震・津波研究部門 呉上席技術研究調査官

北陸電力株式会社 土木建築部

藤田執行役員土木建築部長 他12名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト（地下構造評価について）
- ・ 福浦断層の地震動評価方針（概要）
- ・ 笹波沖断層帯（全長）と能登半島北部沿岸域断層帯の連動の検討

時間	自動文字起こし結果
	1件目 10/20の審査会合(地下構造評価)のラップアップ
0:00:03	規制庁のハラダです。それでは、先日の、先週の審査会合のラップ、先週か、10月20日の審査会合のラップアップ面談を行います。
0:00:16	もよろしいでしょうか。
0:00:21	北陸電力山田でございますどうぞよろしくお願いいたします。それはよろしくお願ひします。
0:00:27	それでは、コメントについて
0:00:31	それぞれコメントさせていただきます。
0:00:34	まずコメントNo. 1の資料構成についてですが、これはこの通りですが、例えば、資料、
0:00:46	審査会合資料の139ページとかで、
0:00:50	見ていただけると、いただけると。
0:00:53	御社では、イトウ社ではない。
0:00:57	何か御社では御社では
0:01:03	あ、ちょっとすいません。
0:01:05	ちょっとすいません。
0:01:07	すいませんアノとクドウさんアノ区の音声が入ってるのでちょっと一旦ミュートにして明日ありがとうございました。申し訳ありません。
0:01:35	すいません規制庁イワサキで黒須イマセちょっと本社の方に連絡して越智をちっちゃ
0:01:41	出る旨をちょっとごめんなさい。
0:01:44	連絡していただけないですかね。
0:01:47	はい。はい、承知いたしました。
0:01:51	あ、すいませんお願ひします。ございますが、こちらの規制庁さんの様子は随時確認できてございます。聞こえますでしょうか。大丈夫です。
0:02:02	はい、聞こえております。すいません。よろしくお願ひいたします。はい。そしたら続けさせてもらいます。
0:02:08	例えば139ページのまとめ観測のまとめなんですけど、御社はいろいろ観測をやられてまして、例えば震度別とか水平方向、
0:02:20	とか観測の2件間とか、そういう地震はの到来方向とかいって、そういう観点で検討されてるんですが、このまとめを読むと、水平アレイ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:32	等鉛直アレイ観測とかで、ちょっと御社がNASAやられてる観点がまとめから読みにくいとか、そういうことをちょっと、
0:02:42	読み取りにくいとかありまして、そういうところを、結論、まず、
0:02:50	再三等になりますが、目的と目的、何ほど、どういう目的で、何を対象にして、どういう手法を使って、
0:03:04	検討して、その結果どういうことがわかって、
0:03:08	結果、結果から、どういう考察をしてこういうことが結論が導かれますっていうそういう流れの構成がちょっとわかりにくい部分があるという、
0:03:19	意見もあったので、そのところを少し、改めて適正化していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:03:30	北陸電力山田でございます。今いただいた話ですね
0:03:35	ちょっと観点がわかりづらいというところだったかと思しますので、今おっしゃられた目的、対象手法結果考察っていうものも、ちゃんと139ページのまとめのところにわかるように記載させて
0:03:49	は以上でございます。はい。よろしく申し上げます。よろしく申し上げます。
0:03:52	よろしく申し上げます。続きましてコメン等ナンバー2になりますが、地震動評価の3要素として震源特性と伝播特性とサイトの増幅特性があるんですけど、
0:04:04	ここでは震源特性というよりは、伝播特性と、サイトの増幅特性があつての検討をここでは、この資料で行われてるんですがこの観点からも、
0:04:17	どの検討が伝播特性に当たるのか、どの検討がサイト特性に当たるのかを明確にしていきたいという、
0:04:27	意見がありまして、例えば139。
0:04:31	ページの、まとめでいうと、例えば水平アレイとか鉛直アレイの検討ではこれはサイト特性、
0:04:38	に近い塀の検討に近いことにはなりますが、
0:04:42	原子炉タテ等、
0:04:45	違う。
0:04:48	とか、
0:04:48	こういうのはサイト特性になるんですが、
0:04:53	例えば、
0:04:58	トモグラフィーの結果の確認とか、そういうのは伝播特性の方に入ってくると思ってますんで閾値よりもやや広範囲になると伝播特性になりますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:09	そういうところを、サイト特性、
0:05:14	サイトと伝播特性、サイトウ特性という観点でも、明確にわかるように、この検討はサイト特性についてやっておりますこの検討は、
0:05:24	現場の特性にあって、ついて行っておりますということは、わかるように、適正化していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:05:36	北陸電力山田でございます。今おっしゃられた趣旨承知しました
0:05:41	電波特性、どうぞ。先ほど腐食性ですね、そちらのどのあたりを議論してるかということはちょっと資料にわかるように記載させていただきたいなと思います。以上です。
0:05:51	規制庁原田です。よろしくお願いいたします。
0:05:55	次はコメントを。
0:05:57	ナンバー3ですが、解放基盤表面及び地震基盤表面の設定というのが、地下構造モデルの設定の前提となるので、ですがちょっと御社のこの資料では、
0:06:11	解放基盤表面、
0:06:13	等、地震基盤の設定が、例えば 144 とか 148 で書かれてるんですけど、それが明示的に、他サイトのように明示的に、小ダテ、それ、
0:06:27	て書かれてない。一応、解放基盤表面については、144 あったつけあそこでは書かれてるんですけど例えばその地震基盤面は、
0:06:39	地下構造モデルの設定の資料の中に、の部分に曲げて 148 のように紛れ込んでるような感じになって、それをやっぱり一番、
0:06:50	地震動評価の中で、設定で一番重要なのが解放基盤表面の設定と、地震基盤面の設定なんで、それがどういう理由で、
0:07:02	このような理由で、
0:07:05	設定しましたというのがわかるように、非両方独立して、小ダテ戸建て書いていただきたいという意見がありまして、
0:07:17	そこそこのところはよろしいでしょうか。
0:07:22	北陸電力山田でございます。今おっしゃられた趣旨は承知しました。
0:07:27	介護基盤表面と地震基盤の設定については項目立てて、資料の中に記載させていただきたいと思います。以上です。よろしくお願いいたします。
0:07:38	解放基盤表面については、解放基盤表面が敷地寄り日んが、のどの範囲でそう水平っていうか、ちゃん、マイナス 10 メートルのところまで広がってるのかっていうの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:53	情報がわかりにくいとかいう意見もありましたんで、そのところも資料には書かれてあると思いがあるんですが、そういうところも明示して書いていただけるようにお願いします。
0:08:06	あ、北陸電力ヤマダで承知しました。
0:08:09	規制庁原田ですよろしくお願いします。
0:08:13	次にコメントNo. 4 ですが、大分、深度ボーリングの話になります。
0:08:20	代診神戸ボーリング 2 校の調査結果における花崗岩場名の約 180 メートルの高度差について、高度差の原因を考察した上で高度差が地震動を与える影響について検討することになってます。
0:08:35	そこで、まず高度差の原因を、成因を考察した上でっていうのは、前も説明いただきましたけど、ここでは地下構造なんで、それほど、
0:08:48	詳しくなくでもいいんですけど、簡潔に書いていただきたいのと、あとはこの成因っていうので、一番我々が、
0:08:58	問題になってるのはこの形状が、例えば断層による、崖のような、
0:09:04	切り取った形状なのか、緩やかな形状なのかっていうので自身はに与える影響もかなり違ってくると思ひまして、そういう観点で、成因と、
0:09:14	あるんですが、そういう観点で成因について、簡潔に説明していただければと思います。
0:09:22	が、いかがでしょうか。
0:09:30	ウエキ電力機能です。大神ホールディングの 2 項の加古 7 丁目の労働者の件ですけども、その整備について、簡潔に記載するようにいたします。よろしくお願いします。
0:09:43	規制庁原田です。
0:09:46	よろしくお願いします。
0:09:47	あと、代診ボードボーリングのこの地震基盤のこの 180 メートルの断層の影響につきまして、御社では審査会合のときに、
0:10:00	周期 2 秒の部分の例えば
0:10:05	単点微動観測の、
0:10:08	結果とカー等、
0:10:10	スパーク法のアレイ観測の結果で、その周期 2 秒辺りでは、
0:10:17	に影響が与えてないから、まあ、いいという回答があったと思うんですけど、そういう周期 2 秒の波だと、波長が数千メートル。
0:10:30	ぐらいになっちゃって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:32	180メートルぐらいのやつ、その影響というのはとらえ切れないような可能性も考えられるので、そこんところも検討していただきたいのと、逆に、
0:10:44	180メートルの段差っていうのも小さすぎて、例えばこのこのS波速度で考えると、
0:10:54	周期になると、0.03秒とか0.044秒とか、そういう、
0:10:59	すごい、高周波の波に影響を与えるに可能性が出てきて、それで例えば、どの周波数体に、
0:11:11	影響するのかっていうのを、理論的に、
0:11:14	シミュレーションとまでは言いませんが、あんまり
0:11:18	これをしっかり考慮しても、周波数体的には、
0:11:26	あまりその重要じゃない、周波数、高い周波数大の方へ行くとか、そういう観点からもそういう検討もしていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
0:11:43	あ、北陸電力山田でございます。今いただいたコメントも踏まえて、どういう主体での影響があるかというところの観点をもってちょっと解析的な検討を何かできればなという。
0:11:56	考えてございます。よろしく申し上げます。
0:11:59	規制庁原です。よろしく申し上げます。あと、その解析的な検討もありますが、例えば、地震観測からも、結局、この
0:12:11	影響がないなっていうことを示していただくことができれば、
0:12:16	それでも、その解析結果も踏まえて総合的に判断していただければと思いますがいかがでしょうか。
0:12:25	北陸電力山田でございます。観測記録からいえるか何かということをやちゃんと把握して、確認した上で総合的に評価させていただきたいなと思います。よろしく申し上げます。よろしく申し上げます。お願いします。
0:12:37	コメント、次に、コメントNo. 5に移りますが、第3'速度層第4'速度層の影響検討についても、地震御社は地震シミュレーションで、0.2秒、
0:12:50	を中心とするRicker波と1秒を中心とする理科ハバノ、差分法の計算で検討されてますが、これについても、周波数に与える
0:13:02	ところの影響のある周波数体を考えていただくのと、
0:13:09	観測記録で、
0:13:11	結局、どこのどの辺りの周期体に影響を与えているのかとか、影響がないのかっていうのを示していただくっていうのを総合的にこっちも総合的にっていうあれなんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:24	解析的な検討、シミュレーションも含んでいると、観測結果の検討、分析、
0:13:32	と。
0:13:34	その三つの観点から検討していただくということによろしいでしょうか。
0:13:42	あ、北陸電力山田でございます。第3'第4'の検討につきましても先ほどと同じように、どういった週発電に影響を与えているかという観点で、
0:13:54	この数値解析の方も見直すということと、
0:13:58	当観測記録の方も同様に、4月度の観点でどうだということをごちょっと分析をさせていただいて、こちらも総合的に、
0:14:07	評価をさせていただきたいなというふうに思います。以上です。
0:14:11	規制庁原田です。
0:14:13	よろしくお願いします。
0:14:16	次はコメントNo. 6 のトモグラフィについてですが、
0:14:20	小レイモー
0:14:23	速度構造で 70、
0:14:27	9 ページでしたっけね
0:14:29	水平であると、敷地内添 10 キロ程度の範囲を水平であると、松原達 2022 の結果を使って、御社は説明されてるんですが他方で、
0:14:42	217 ページになると、2007 年の中越沖地震の震源域の下でちょっと盛り上がるような感じになってるっていう、ちょっと意見すると同じ。
0:14:53	解析結果から、矛盾するとか相反するようなコメントが、
0:15:00	書かれてるんで記述がされてるんで、その点については、範囲が違うとか、例えばトモグラフィの
0:15:09	おそらくその範囲とか、例えば解析精度とかいろいろあるんですけど、確実にその水平敷地周辺では、水平とみなしていいですよっていう、
0:15:23	ことを記載を、例えば斜めに、と、断面をとっていただくとか、そういう、
0:15:34	とか、2000、2、217 ページの記述とは矛盾がないですよっていうような記載をしていただくとか、そういう観点で、適正化していただくっていうので、よろしいでしょうか。
0:15:48	北陸電力山田でございますご認識の通りでございます。水平成層の件は審査資料の中にも少し記載してありますが、
0:15:58	敷地から 10 キロメートル程度の範囲の高いところをごちょっと確認したというところの位置付けでございます。また発生層の方は、比較的浅い方のところを広範囲に確認させていただいたというところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:11	それからすみ分けみたいなのところもしっかり記載をさせていただいて、矛盾がないような記載にさせていただきたいと思います。また断面とかもいろいろ、もう少し庁舎に確認をさせて、
0:16:24	そちらの方も改めて示させていただきたいと思います。
0:16:27	以上です。
0:16:29	規制庁原田です。よろしくお願いします。
0:16:32	次はコメントナンバーの7番ですが、これは観測ですが、単点の微動探査と水平微動水平アレイ観測結果、両方を示されてるんですが、
0:16:46	同じ地表面っていうのを水平アレイの観測点なんですがその観測結果が、お互いにちゃんと整合しているのか。
0:16:57	ていうかちゃんとリンクしてるのかとかすお互いに整合しているのかっていうことについて記載をしていただきたいと思いますのですが、いかがですか。
0:17:10	あ、北陸電力山田でございます。ちょっと、このコメントについて少し趣旨を確認させていただきたいんですけども、
0:17:17	先日の会合でもコメントをいただきまして、当社から整合的であるというふうに考えてお伝えいたしました。当社の考えとしましては、
0:17:27	断片微動探査の結果につきましては資料95ページでございますけども、
0:17:35	ちょうどVスペクトル比の周期秒程度のところで、観測点によってあまり違いがないということから、地震基盤の形状としては敷地内で概ね、
0:17:46	水平と考えると良いのではないかなというようなことを、95ページでは確認をしたと、いうふうに考えてございます。
0:17:52	それから水平方向の地震記録を使った検討ですね1.3、
0:17:58	建設になります。こちらの水平アレイ観測の検討では地震基盤より浅いところですが地震基盤の形状も含めて、
0:18:08	新基盤で浅について特異な速度構造がないということを確認したアノFに考えておりまして、そういう観点で地震基盤の形状というところに、
0:18:20	両者に不整合はないというか整合的であるというふうに考えたということで、ご回答させていただいたんですが、この旨をもう少ししっかり記載するというような形でよろしいでしょうか。
0:18:33	規制庁原田です。それをお願いします。これはコメント1とかその観点読みやすさっていう観点で、
0:18:45	一つの目的で2種類の観測点、観測を行われてるんで、それが結果二つの結果からも言えますよっていうのを

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:55	リンクさせるというか有機的につなげ、つなげていただくというか成功しますよっていうそういうような感じで、記述でお願いします。
0:19:07	グループ電力ヤマダですが承知しました。
0:19:11	規制庁原田です。よろしくお願いします。
0:19:14	次コメントNo.8 になりますが、地震観測記録を用いた到来方向の検討で、
0:19:23	まず方位を、到来方向を東西南北の4方向で検討しているが方位をさらに細かく区分してっていうのを、
0:19:33	適切に細かく区分してっていうふうになんて書いて、
0:19:38	に改めていただきたいとまずは思います。
0:19:44	それでまあ、この適切にっていうのは、
0:19:48	その方向によって西方向、到来方向によって、地震の数とかは、
0:19:55	少ないんですが、
0:19:57	少なくなってしまうんですが、やはりちょっと4方向だけだと、第3'速度層とか、第4'速度層とか、
0:20:07	例えば地震基盤面の180メートルの段差とか、そういうのが4方向だけから見えるのかっていう、
0:20:15	こともありまして、もう少しこれも地震の数等、検討制度の
0:20:24	の兼ね合いにもよるんですが、もう少し細かく分けて、
0:20:29	できたら、細かく分けることはできないかなというところを、検討していただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
0:20:39	はい。北陸電力山田でございます。コメントの趣旨、承知しました。
0:20:44	もう少し4方向では少しアライということをお話サカイ5でもいただきましたので、もう少し詳細に確認をさせていただきたいというふうに思います。
0:20:53	おっしゃられるように細かくしていくと心数が少ないところもありますので、その辺りはもう少し地震記録拡充できないかということも含めて、検討させていただきたいなというふうに思います。
0:21:05	以上です。規制庁原田です。よろしくお願いします。よろしくお願いします。
0:21:11	木田池村でございます。コメント一覧の記載につきましては行為を適切に区分して検討するというふうに修正させていただきたいと。
0:21:21	以上です。
0:21:26	次はコメントNo. 95で、
0:21:30	これはその通りでして、スペクトル比が一ちょっと縦軸が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:39	100、0.01 から 100 まで取られてて、ちょっとどう、どうい
0:21:46	例えば、何ページ。
0:21:51	スペクトル比ですがタテ事故が、
0:21:55	例えば 128 とかになると、
0:21:58	0.01 から 100 異になるので、まあまあ水平に見えるというのはわか分かるんですがその結果で問題はないと、我々も考えておりますが、
0:22:10	ちょっと余りにも、あまりにもっていうか、ちょっと縦軸が広すぎてるので、もう少しちょっと細かい変動ってということもないんですが、
0:22:23	もうちょっと比較できるようにっていうか、
0:22:27	0.1 から 10 までとか、
0:22:32	ちょっとその範囲を
0:22:34	もう少し適正化していただきたいと思うんですがいかがでしょうか。
0:22:39	北陸電力山田でございます。はい、出生しました見やすいように資料の方、見直しさせていただきたいと思います。
0:22:46	以上です。
0:22:47	規制庁原田です。よろしく申し上げます。
0:22:51	次はコメントNo.10 になりますが、
0:22:54	この震度別の応答スペクトルについて周期 0.2 秒程度より短周期側では、岩盤中において、ほとんどが増幅見られが見られないとしている側で、次は、
0:23:08	S方向の周期。
0:23:10	0.2 秒から 0.5 秒で増幅が見られることについてなんですけど、これ一つっていうのではなくて、例えば、
0:23:18	ということで、
0:23:19	例えば他の観測記録を他の乾燥自身について他の成分を見たりすると、周期体によってちょっと違うんですが、ちょっとかなりやっぱり、
0:23:31	これは一番特異な例として、113 ページやったっけあの例を示ささせていただいたんですが、ほかにもその増幅してる例とかが、
0:23:44	それがこの増幅っていうのは地震ごとに、
0:23:48	地震によるものなのかというか、地震のその地震到来方向によって、そういう増幅が見られるのかとか、そういう、
0:23:58	地震のね、その場所とか、
0:24:01	そういうので、増幅が見られる見られないとか、
0:24:05	これも普遍的に、どの方向から来てもこの増幅が見られるのか、ぱっと見はそういうことはない、ないんですが、もうちょっと細かく分析

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:15	していただきたいという意見もありまして、
0:24:19	そのところはよろしいでしょうか。
0:24:23	はい。北陸電力山田でございます。出生しました
0:24:28	113 ページ辺りの鉛直アレイの震度別スペクトルについてはこちら当社の方の応札としましても、短周期側のところで、あまり増幅しないというところだけちょっと記載しておりましたので、
0:24:41	この辺りもちょっとスペクトルを、震度別のスペックをもう少し見まして、どうしてるところについては、
0:24:48	地震動のモデルに反映する必要はないかというそういう観点でちゃんと見直してですね必要に応じて記載をさせていただきたいというふうに考えます。
0:24:57	以上です。
0:24:58	規制庁原田です。小原です。よろしくお願いします。
0:25:04	次は、地震発生層の設定についての
0:25:09	コメントになりまして、
0:25:11	11 位、コメントNo.11 は、これはこの通りでして、御社は、
0:25:21	2007 年能登半島沖地震を切るような断面、
0:25:27	断面ズーのみを示されていますが、
0:25:30	やっぱり
0:25:32	ひずみ集中体というかそこに沿って、1993 年の能登半島沖地震とか、最近の能登半島の群発地震が発生してますので、
0:25:42	そういうもの自身の震源の深さもどうなってるのかどう、2007 年能登半島沖地震と同様に浅くなってるのか、逆に深いのかとかそういう情報も、
0:25:54	見たいので、その 2007 年の
0:26:00	能登半島沖地震の震源域に平行というか、北東、北東南西方向の御社が示されている断面図と、90 度、
0:26:13	移動して、回転させた断面図も示していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:26:24	北陸電力山田でございます。承知いたしましたアノ。
0:26:27	ノダと地震震源域の走行方向の地震の、その深さの分布も確認できるような断面として、直交方向を確認させていただきたいと思います。
0:26:38	以上です。規制庁原田です。よろしくお願いします。
0:26:43	次は、コメントNo.12 で、石渡委員からのコメントなんですが、この 2007 年能登半島地震発生前後の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:53	深さ分布について、2007年能登半島沖地震の震源域の震源が発生日前、前に比べて発生後が浅くなっていると。
0:27:02	他の地震でも同様の方が起きるか検討することとあるんですが、これについても一概に言えないので御社が
0:27:14	答えられたというか、では例えば2007年能登半島沖地震の前のD10% D90%も、
0:27:24	2007年の能登半島地震が発生した後でも、ほとんど変わってないとか、そういうことを御社が言われてたそうなので、そういう記載とか、
0:27:34	書いていただくとか、この余震なんで、人工的な、
0:27:42	もので、菅観測精度の問題でも浅く浮かび上がったり、
0:27:47	先生決定精度が悪くなる自身も多くなると思うんで、そういうことがあるのかないのかとかそういう観点で、検討していただければと思いますがいかがでしょうか。
0:28:01	はい、北陸電力山田でございます。
0:28:03	趣旨承知しました後者としてもですね
0:28:07	年の資料でいう204ページ205ページの図については、
0:28:12	D10という数字に現状という数字を示させていただいてますが、地震前後ですね、こちらの方の値としては大きく変わっていないかなというふうに、
0:28:22	考えてございますので、まずそのあたりちょっと丁寧に、
0:28:25	説明するような資料とさせていただきたいなというふうに考えてございます。以上です。
0:28:31	規制庁原田です。よろしくお願いいたします。
0:28:35	次は、コメントNo.13ですが、
0:28:39	OTがあった断層体の地震発生層上端深さ及びトナミ部屋断層体、これハヤマ断層体の地震発生層下端について、
0:28:49	最新知見の判断を、判断根拠を改めて確認した上で再検討することとなっておりますが、
0:28:57	この最新知見の判断根拠を改めて確認した上でっていう以降は、
0:29:06	そう。
0:29:12	ごめんなさい。
0:29:20	例えば、例えばというか地震本部2020の評価を踏まえても、3キロと評価する古藤が妥当である。
0:29:29	いうことを科学的に説明することっていうふうには書き直して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:35	いただきたいと思います。3 キロってこの上端深さが 3 キロなのであとは、
0:29:40	トナミ部屋だと 18 キロかにす、18 キロじゃない、20 キロか。
0:29:46	18 か 18、3 キロ 18 キロと評価することが妥当であることを科学的に説明することっていう、こういう、
0:29:55	コメントに変えていただきたいと思います。
0:29:59	がいかがでしょうか。
0:30:02	はい。北陸電力山田でございます。
0:30:04	コメントの中を確認した上での後につきまして、地震本部の 2020 の知見を踏まえても、
0:30:12	邑知潟麻生他へ例えばについては 3 キロ、花見へ約ヤマダ相対のした場合には 18 キロメートルが妥当であると、いうことであれば、それを科学的に、
0:30:25	妥当であるということを説明することというふうに認識しました。はい、そのように修正直させていただきたいと思います。はい。飯山規制庁原田です。この最新知見の判断根拠を改めて確認した上でっていうこの一文はとっていただいて、
0:30:42	とってください。
0:30:45	承知しました。はい。
0:30:47	いや、
0:30:50	よろしいですか。規制庁原田です。よろしく申し上げます。北陸電力の徳田です。いろいろコメントありがとうございます。ちょっと今の原田さんからのコメント、
0:30:59	等ですねはい。を踏まえて、こちらの
0:31:04	コメントリストに載せる。
0:31:06	文はですねちょっと確認をさせ、改めてちょっと確認をさせていただきたいんですけども、ちょっと読み上げますので、
0:31:12	ちょっとご確認をお願いします。はい。邑知潟断層体の地震発生層は部課差及び、
0:31:19	トナミへや断層タイプポチ呉ハマ断層対応、地震発生層下限分力セについて、
0:31:26	推本さんの 2020 の評価を踏まえても、
0:31:31	3 から 18 キロで妥当であることを科学的に、
0:31:36	説明すること。
0:31:39	こんな感じでよろしかったでしょうか。そうですはい。そうです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:42	地震本部も呉ハヤマの方はちょっと 2020 じゃないかもわからないんで、2004 とか、
0:31:49	ちょっと年号が変わってたかもわかんないで 20042020 ってちょっとそれ、そこんところちょっとすいません、調べて、
0:31:57	なんですが、
0:31:59	それです。よろしくお願いします。
0:32:03	北陸電力の徳田です。了解いたしました地震調査研究推進本部だけで終わるのではなくて、地震調査研究推進本部括弧 2020 で、
0:32:13	市、コナミとかですとアノ 2004 になりますので、そういった年号もお伝えして、
0:32:19	するということで、承知いたしました。以上です。
0:32:22	規制庁原田です。よろしくお願いします。
0:32:28	次は、コメントNo.14 で、邑知潟断層体のD10%の検討に完済しては、2007 年能登半島
0:32:38	地震の震源域の震源データの影響がないよう、適切な範囲で検討すること。
0:32:44	ですが、これも、ちょっと※このコメントを修正していただきたくて、2007 年能登半島沖地震など、
0:32:56	点、
0:32:57	この断層たEと関係しない。
0:33:01	線源データの影響がないよう、
0:33:03	いうふうに、
0:33:06	書いていただけますでしょうか。
0:33:13	はい。北陸電力山田でございます。
0:33:16	承知しました。
0:33:17	文案ですけども、2007 年の香月藤の、
0:33:22	邑知潟断層体の震源データと、
0:33:26	関連のない、
0:33:28	震源データの影響がないよというようなこれ、
0:33:31	趣旨で修正させていただきたいと思います。
0:33:34	よろしくお願いします。はい。規制庁原田です。よろしくお願いします。
0:33:42	次は、コメントNo.15 は、その通りでして、やはり御社が地震発生層の上端深さを火山深さ 18 キロと設定した、
0:33:55	のにも外れる例えば 2003 年、2007 年能登半島沖地震の震源域は 2 キロと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:02	2 キロと 18 キロか、とするとか、そういう、御社が変える上端深さ
0:34:12	をの設定を変える断層体については、すべて、
0:34:17	上端深さも下端深さも、
0:34:21	替えるかえる断層体がある場合はその断層体の、
0:34:26	等の名前と、地震発生層の設定値を、すべて
0:34:34	明示していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:34:40	北陸電力ハラで承知しました明記させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。規制庁原田です。よろしくお願ひします。私からのコメントは以上ですが、
0:34:53	他何かコメントあるでしょうか。
0:35:08	規制庁海田です私もちょっと確認というか、
0:35:11	コメントでナンバー3 番のところなんですけど、
0:35:15	これこの通りで、コメントとしてはいいと思うんですけど
0:35:22	ちょっとどうとらえられてるかの確認で、小ダテするということなんですけど、今 144 ページとかに書いてるのを、
0:35:32	そのまま、ただ、分けて種分けるだけなのか、それ以外に
0:35:39	解放基盤表面の設定にちょっと結びつくような、
0:35:45	何ですかね、エイチオーバーブイとか、何か微動の話もあつたりしたんですけどそういうのも含めて、衣装にするというふうに考えてるのが今どんなふうな、
0:35:55	イメージをお持ちなのかちょっとそこを確認させてください。
0:36:00	はい。北陸電力山田でございます。火曜日、地震基盤面の設定につきましては、地震基盤面の設定の妥当性に関連するものを、
0:36:11	しまして例えば今おっしゃられましたような、
0:36:13	単点微動観測のエイチオーバーブイの検討結果等ですねそういったところも含めて、地震基盤の設定については総合的に説明をさせていただきたいなど。
0:36:24	おります。以上で、
0:36:27	地震基盤面 3 番目の設定について説明させていただきたいと思っております。
0:36:32	以上です。
0:36:33	はい海田です。わかりました。解放基盤の方は今のものをそのまま
0:36:41	コウ副所長ダテするってことですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:45	北陸電力の徳田です。解放基盤面についても同様に、いろんなどこちょっと調べてるところありますのでそういったところエイチオーバーブイも、でも解放基盤表面のところの妥当性とか確認してございますので、
0:36:59	そういったところも盛り込みまして、一つにまとめまして別途何か説明するような構成にさせていただこうかと考えているところです。
0:37:10	以上です。
0:37:11	はい。海田です。わかりました。ちょっと今資料見てて思ったんですけど
0:37:17	一応基準で風化を受けてないってところもあるんですけど風化の話ってというのは、
0:37:24	そこまでこの資料上、
0:37:27	あったかなかったのかよくわからなかったんですけどその辺はどうなんでしょうか。
0:37:36	あ、北陸電力山田でございます。
0:37:38	フーカーに関しては、資料 54 ページに、
0:37:43	岩級区分を示さしていただけてますが、これに基づいて説明させていただきます。坂東百瀬
0:37:52	邸のところでちょっと、
0:38:01	144 ページでございますね。
0:38:05	真ん中の箱書きの三つ目の丸になりますが、
0:38:10	こちらに先ほどの岩級区分の検討の結果を踏まえた記載をさせていただいております、
0:38:19	原子炉設置位置の番場にほとんど変質が認められないと、主にBEPUBというのが福留さんは広くループしているということで、著しい風化を受けてないというふうに判断したということに記載させていただいております。
0:38:34	以上です。
0:38:36	海田ですがわかりました今後、こういうのも含めて、
0:38:41	この資料化がされるというところでわかりました。はい。この点は
0:38:46	以上です。
0:38:48	もう一つ、
0:38:51	さっきのちょっとお話のあった 13 番のところなんですけれども、
0:38:56	うん。
0:38:58	さっき原田の方から言った、最後のあたりを修正するっていうところも、
0:39:04	それはそれでお願いしたいんですけども、
0:39:08	あとここコメントした時に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:14	落ち方であればこれも副ここの落ち方も含めて、
0:39:19	ここの分、いった予算キロと評価するのであれば、落ち方を、
0:39:26	何て言いますかね地震本部の、
0:39:28	知見とか踏まえてもやっぱり3キロなんだっていうところを説明してくださいってということで、
0:39:35	コメントしたと思います。なのでここには書いてないんですけど、ここも含めて、3キロと
0:39:43	ずっと評価していくってことであればそういったところもちゃんと必要だということその辺りはしっかり検討していただきたいなと思っ
0:39:53	て、そういった趣旨も踏まえて検討していただきたいなと思ってますので、
0:39:57	これは不修文は必要ないですけども、よろしくお願いします。
0:40:05	北陸電力の徳田です。その辺りの
0:40:10	指摘というか考えて3当然、10承知してございますので、そういったところを含めまして今後また検討して、
0:40:18	資料下の方をちょっとさせていただきたいと思っております。以上です。
0:40:23	はい、甲斐ですよろしくお願いします。私からは以上です。
0:40:39	と現状規制庁の呉ですわたCから2%についてちょっと、
0:40:44	あんまりここで直接書いてないですけど開口の中で、
0:40:48	ナイロンさんからコメントをまねまして
0:40:51	そこと今近くとも出る妥当性の判断というのは、実際に、
0:40:57	震度評価する際に、例えば、
0:41:01	統計的管理ソウノ場合で、
0:41:04	数、例えば先行サイドであれば、
0:41:08	ノロ半島地震がありましたよねその地震を使って検証解析でモデルを妥当性を検証する。
0:41:14	このような計画あるかどうか、1点目で、
0:41:18	もう1点目の方はですねきちん値、表示黒瀬ノザキで戦後再度あれば、特にQ値の妥当性をいろいろ検討して格付、観測記録を使ってもらった後であることも、
0:41:29	何かよく考え、検討されていますがこの、
0:41:34	北電の場合がこのような県道を計画されるかどうかを、この2点確認させていただきます。
0:41:44	北陸電力の徳田でございます。まず1点目能登半島地震の新ゴトウの2007年能登半島地震の観測記録ですとか世界のデータを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:56	を用いた妥当性の確認というところですが、すみません、確認ですけども、今おっしゃられましたけどこれは
0:42:04	例えば能登半島、2007年の能登半島地震というのは震源断層が、そんなにオオキ断層体の東部ってことはあれわかってるんですけども、その笹波沖断層対抗部、
0:42:16	オア絡んだ地震動を、アサノ佐田ミユキ断層ダイウ分を含めた断層をですね、一連の断層を震源とする場合にその震源モデルの妥当性を、
0:42:29	この2007年能登半島地震の知見を用いて、確認するという、そういう趣旨でよろしかったでしょうか。
0:42:37	多分そこまでは求めないです諏訪他Cが各自治体の方が、例えば先行サイトのような
0:42:46	記録があればですね、ノロ版の地震記録あれば例えば鷺見チームであれば、そのモデル使って今の速度モデルを使ってよく再現できますよと。
0:42:56	一応速度もレビューを出せよ再建できるような攻めレーション計画あるかの確認ですね。
0:43:04	北陸電力の徳田でございます。例えば先行サイトさん。
0:43:10	とかですと
0:43:12	統計的グリーン関数法で地震動評価されてる場合は、では統計的グリーン関数法と経験的グリーン関数法との間、
0:43:22	比較とか、されてるところありますけどもそういったところの比較っていうそういう趣旨でございます。
0:43:30	そうですねこれこれでも一つの確認方法持ってきますから。はい。
0:43:36	北陸電力の徳田です。了解いたしますそういったことは先行サイトの審査資料見てても必要かなと思っはいるんですけども、あくまでもそれは今の今回の地下構造モデルのところ、
0:43:48	での検討ということではなくて、実際の地震動評価手法とか地震動評価結果の妥当性の確認というふうに考えてございまして、つまるところアノ、
0:43:58	震源を特定して策定する地震動の中での資料での記載かなというふうに考えていたんですけども、
0:44:05	そのような考えでよろしかったでしょうか。
0:44:07	どこで。そうそう。これは、
0:44:09	今回の機材幾つ以下ではなくてこの結果があることは確認だけではない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:17	これでいいです。そういったことであればその次のステージになるかもしれませんが震源を特定してのところで検討するということは承知しました。
0:44:31	あとそれとすいません伝播特性のQ値の話ですけどもこちらもあくまでも伝播特性の周知というところで、
0:44:40	その何ていうか観測記録から求めるQ値っていうのは、直接、
0:44:45	地下構造とかもなかなかリンクしないかなというふうにちょっと思ってるところもありますのでそういったところも、ここに
0:44:53	結局地震動評価でどんなQ値、伝播特性のQ値を使うんだというところに繋がってきますのでそれをも震源を特定して策定する地震動のところでの審査項目かなというふうに、
0:45:03	ちょっと考えていたんですけどもこの考えでよろしかったでしょうか。
0:45:08	多分わざわざこの2年目の方が確認事項が一応標準リスクだけじゃなくて一応窮地影響するとの統計活動も影響してますね。
0:45:19	せ、今、先行サイドの場合ほとんど企業間の条件で、もう1回Q値を検討しますから、今回の方が、
0:45:30	最初から地下モデルを策定するから、
0:45:34	そうするとセットで考えないと、部分的に例えば標準野瀬だけで窮地を見直して、外客何層も影響してますから、
0:45:43	これが多分先に例えば全般的に考えてももちろん華夏今回の処理はなくてこれが地震動評価のときが導入の部分で一緒になっても結構です。
0:45:55	北陸電力の徳田です。サイト増幅特性に使うQ値ですね。具体的に言いますと、
0:46:05	ほぼ、
0:46:12	こちら、
0:46:15	アノ156ページに本社野瀬設定しました地下構造モデルありますけども、ここに書いてある減衰定数ですとかQ値これはまさに
0:46:25	サイト増幅特性、ところで用いるQ値でございます、統計的グリーン関数法であれば地震基盤面より上部のQ値、
0:46:36	値ですし標準応答スペクトルということであれば地震基盤相当面、
0:46:40	より上部とかそのあたりの付近から上部のQ値を使うというところになると思いますけども、当社としましては
0:46:50	特定するほうの地震の、で使う、統計的グリーン関数法で使う地下構造モデル。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:55	標準応答スペクトルで使う地下構造モデル、これ資料に規制してご います通り、両方ともこの今 156 ページの地下構造モデルを使うことを 想定してございますので、
0:47:06	ということになります。
0:47:10	はい。以上です。
0:47:13	はい。
0:47:14	回答お願いします
0:47:16	やはりクリアになっていますが私も内藤さんと同じコメントと同じ
0:47:21	0 サノ※同じ感覚で思ってます妥当性ですね声を期中のセト妥当性を 菅観測値増の堅持を用いてくれた後である。
0:47:32	雇用資料を説明し、提示しない。
0:47:37	の場合が新沢君たちから超えた後であるか判断しにくいじゃないかアノ のコメントをですね。
0:47:44	今の方が、一応、ちょっと資料の構成んの一部になってると思いますが 今の 9 近く止めるだけで調べて小さいが地震度関連してますねこれか らの。
0:47:56	地震ノダで評価する際の方が特に 9 人の方が、今調査ベースでやって いますから観測ベースで、特に大深度ボーリングありますから記録を活 用してくれ、十分。
0:48:09	保守性ありますよそこまで説明してあると思います。
0:48:14	北陸電力の徳田です。了解いたしました 156 ページで設定しました今 後の予測問題に使う地下構造モデルですね、これの妥当性というもの を観測記録を用いて
0:48:28	適切にとかアノをホームページに説明しなさいということだと、趣旨だと いうふうに理解しましたので、今後そのように対応させていただき、
0:48:37	ます。以上です。
0:48:41	はい、姉川様、私からこれ以上です。
0:48:45	規制庁ハラダですほか、
0:48:47	規制庁からありませんか。
0:48:59	規制庁ノダですけどおはようございますよろしくお願いします。
0:49:02	ちょっとですね、幾つかあって、まず宇佐の件、2 点あったかと思いま す。一つは、
0:49:11	過去地震を使ったウエダちょっとモデルノダ想定という言い方をされた んですけど具体的には、私も統計的と経験的の
0:49:23	地震動評価の比較確認ということで、ここは宇津さんの趣旨もおそらく

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:32	地下構造、
0:49:33	評価というよりも、地震動評価の過程のどこかで示してくださいという趣旨だったと理解してますし、それは他サイトでもそうですけど、
0:49:43	次のステージかなと思ってますんで、ここは共通認識ができたかなと思いますし私も理解ができました。
0:49:50	他方で、
0:49:51	今のQ値のところ確かに下、管理課もですね、
0:49:59	審査会合の中で少し、
0:50:01	もう、
0:50:03	地震観測記録を使って、妥当性の確認みたいなことを言われていたんですけど、
0:50:09	ここは具体的に御社は、例えば 159 ページの中で、今回設定している地下構造モデルの妥当性確認ということで、三つの項目ですね、地盤増幅特性、
0:50:22	あとは、今話題になったその減衰ですね、減衰構造、あと、
0:50:26	は、3-3 ということで速度構造ということで、この三つのカテゴリーに分けて検討されている中で、
0:50:35	そこのこのQ値のところに特化して、何かその観測記録を用いて、どういうその妥当性確認をされようとしているのか、もし今、
0:50:48	何ですかね、
0:50:50	実際に思い描いているものがあるのであれば、ちょっと確認させてもらっていいですか、ないっていうか、
0:50:57	ないということであったり、これまでの検討のここに含まれてますっていうことであればそういう回答でも構わないんですけど、すみませんこの点いかがですか。
0:51:07	北陸電力の徳田です。イマダの観測記録を用いた確認というところなんですけども3、先日のちょっと審査会合でも持ってに説明すればよかったのかもしれませんが、
0:51:21	資料の 167 ページ。
0:51:24	一方にちょっと記載をさせていただいて、
0:51:30	AAます、こちらの方なんですけども観測記録を用いた検討ということで、
0:51:40	主観測記録とあとシミュレーション設定した構造モデルというのを、シミュレーションの比較をしたというところになります。ただ設定した地下構造モデルは 100、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:52	56 ページに記載しました通り、浅いところは標高 - 10 メーターということで解放基盤表面までしか
0:52:03	設定をしてごさいませんので、一方で観測記録の方は、167 ページの資料の方にも、簡単にイメージ図書いてごさいますけども、
0:52:13	一応例えば標高、一番左の方に自由地盤の地震観測点ということで、上の方に三角四つございまして地表から、
0:52:23	オオツカ、地震基盤層、地震基盤面のところまで地震観測してごさいますけどもその中でも、解放基盤表面に最も近い深さである標高 - 10 メーターのファースト記録を使ってこのシミュレーション
0:52:38	で解析した観測記録、シミュレーションで解析した結果と比較をしようということをしてごさいますが、観測記録の中には当然、EL - 10 メーターより上部の地盤の影響ですね、
0:52:51	地表のところまで、
0:52:53	そこから下がっているか後半の影響も入ってごさいますので、この観測記録、
0:52:58	について、EL - 10 メーターより上の上部の地盤の影響ですね、それをはぎ取ったもの、はぎ取りをしまして、
0:53:08	解析と同じ条件にしまして、それで観測記録、
0:53:12	このシミュレーションした解析結果が観測記録に対してどうかっていうところを比較しているのが 169 ページというところになりましてこの 169 ページを見ますと温泉はシミュレーション解析結果、
0:53:25	条線が観測記録ということを示してごさいますが、それで逆解析に用いた、最初は 70 人全部。
0:53:33	すべてやってごさいますけども、この 7 地震とも、水平方向鉛直方向とも、シミュレーションの解析結果がガセ、よく上回ってるということでこういったところでも
0:53:44	Q値の妥当性とか安全性というのは確認できるのかなというところをお示したところでごさいますけども、そういったところもちよつと説明がちよつと資料の構成とかがちよつとお待ちなかなか、
0:53:55	折川なかった、していただけなかったのかなというふうにちよつと感じてごさいます考えてごさいますので、この辺りもう少しちよつと丁寧な資料作り、
0:54:03	をすべきなのかなというふうなところを今ちよつと考えている
0:54:08	ちょうどこの説明した資料の方はちよつと私疑問で持ってますのでちよつと説明、確認したいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:14	今回のシミュレーションの方が
0:54:19	インバージョン診断モデルを使ってしたん、引き戻してもいいかい。
0:54:24	提案したモデルを小サクライモデルを引き上げたものをですね、結局、
0:54:30	これの比較の方がモデルこのプラスもレールの佐竹で比較して、これが観測記録等価と全然関係ないですね。
0:54:40	医大の方が、
0:54:41	ほら専務理事の結果と観測はほぼ同じ差でなってますね。実際が観測記録とモデルの嵯峨前野。
0:54:49	すべて奴隷大分違うんですね、地震によって。
0:54:54	日平均とかモデル性とかね、大分違うんです。今回の方がこのシミュレーションは単に、この二つのモデルインバージョンのモデルと、今河内がモデルの方の差をだけで示していると理解しております。
0:55:12	北陸電力の徳田です。今の大上さんの趣旨ご理解しました。で、
0:55:20	今回は
0:55:22	設定した志賀藤堂モデルですねそれがEL-10メーターより上はちょっと設定してないというところがあって今回こういうやり方をちょっとさせていただいたところございますけども、
0:55:31	パス記録をそのまま使って、何かできないかということですね、今今回設定したモデルはEL-10メーター。
0:55:41	ですけどもそれより浅いところも何かのモデルをした、作って、直接インフラ政府の探査記録ですね、それをを用いて何か、
0:55:51	安全性を示してないかということかなというふうに理解をしておりますので、ちょっとそういったところですね、再度
0:55:59	検討させていただければと思っております
0:56:01	以上です。
0:56:04	そんな直接モデルの理論の今のモデル理論の例えばテンダー関数と観測関連装置こすい書くのがもっとわかりやすいですね今回のシミュレーション。
0:56:15	意味ない完全ないでもないですけど、
0:56:18	もう何か今、何か、安全性、補修性安定力そこまで、結論言えないからちょっとこの資料は多分、あまり
0:56:27	そんなに座ってくれないと思います。私小室医長です。
0:56:38	きちんとノダですけど、
0:56:42	徳田さん呉さんありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:44	私もですね、最後に呉さんがコメントされた通り、管理官であるとか、さんもそうですし、私も認識も、
0:56:55	端的に言うとその乾燥記録を使って直接、降格妥当性が確認できないかなという趣旨だったと思っている一方で、
0:57:07	前回の会合では、
0:57:09	議論しないってことでしたのであんま触れないようにしてたんですけど、
0:57:14	そういった趣旨のコメントですので、
0:57:18	はい。もし可能な、可能な範囲で、
0:57:24	ご検討いただければと思いますし、
0:57:28	さらに言うと、今そういったことが、私の理解では、このコメントリストにないんじゃないかと思っているんですけどそれは、このコメントのところで、
0:57:40	御社をご説明されようとしてるのか確認させてもらっていいですか
0:57:59	アビル電力ヤマダでございます。ちょっと明示的に観測記録と直接に比較するというようなちょっとコメントは整理できてございませんでしたので、
0:58:09	ちょっと、
0:58:11	新たにコメントを追加することをちょっと検討させていただきたいなと思います。趣旨としては観測記録と直接的にもう少し比較をするというような
0:58:20	等ができないか。
0:58:21	ということかと思しますのでちょっと検討させていただきます。
0:58:26	規制庁ノダです。ありがとうございます。そうですね私も同様の認識ですので、それ追加してもらえればと思います。
0:58:38	はい。
0:58:49	そうしましたら、私の方から、
0:58:51	幾つか幾つかというかまず、まず2点かな、少し
0:58:58	今、
0:58:59	確認したコメントの背景をもう少しお伝えすると。
0:59:05	上からいきますかねまずナンバー1、ここは、私が最後に、資料構成形式的なところをお伝えしたんですけど、
0:59:16	この会合でもお伝えした通り、このコメントっていうのは、別にこの地下構造評価に限った話ではなくて、
0:59:25	例えば、今やっている海域の活断層評価もそうですし、今後審査する。
0:59:34	V案件ですかね、分野ですかね、そういったものも共通ですので、ぜひ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:41	皆さんに、
0:59:42	に、共通の認識を持っていただければと思っています。ちなみに、
0:59:49	この地下構造評価の資料は、部長は、すごくわかりやすいということ 青島部長ですね、小部長はすごくわかりやすいということをお られました。他方で、
1:00:01	私、部長と私が部長に少し
1:00:06	審査会合にあたって、この説明していくわけ中で、部長からノダは何が 足りないんだと言われたんで、こういったことは、足りないとは、
1:00:17	感じてますんでそこは審査会合で、少しコメントさせていただきますという、 そういうやりとりがあった中で、こういったコメントをさせていただきます で、まず、
1:00:28	過去、コメントさせてもらったんですけど、基本的には部長は、この地下構 造モデルの資料は非常にわかりやすいということをおっしゃって いましたんで、一応、2 のためお伝えしておきます。
1:00:40	あとは、ナンバー7 ですかね。
1:00:43	これは少し徳田さん、あと、山田さんだったかな、指針の確認があったと ころですけど、
1:00:50	これはですね、ですね。
1:00:55	いろんなところと関係してるんすよね例えばこれ、単点微動で要するに その敷地内の水平方向に見たときに、
1:01:05	何か特異な傾向がないかっていうことだと思っていて、これっていうのは 我々、何でこんなこと言ってるかっつう例えば、ナンバー9 と関連してく んすよね、No.9、さっきは、多分鉛直アレイの話をおされたんですけど、
1:01:19	大戸スペクトル比がちょっとスケールが大き過ぎてわかんなかったこれ 多分 124 ページとかだと思んですけど、こういったところとも関連して ますし、
1:01:29	あとはNo. 4 と書いてあんな何%、あそうそう、だから、こういう、
1:01:34	ナンバー4 だから、こういう花崗岩上面の高度差があって、こういったも のが、す。
1:01:43	敷地全体を見た時に例えば 1 号炉、
1:01:46	2 号炉のところには悪さしてないけど例えば 1 号炉のところには悪さして るんじゃないとか、多分浜岡とかをイメージしてもらえれば良いと思うん すね低速度層があって、
1:01:56	四、五号の方は増幅するけど、郷さん、3123 の方は、そういう特異な傾 向が見られないとか、そういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:05	こと。
1:02:06	ですねそういうこともあって一応ここは、
1:02:12	うん。
1:02:14	地震基盤面であったり、解放基盤のところ、増幅してない。本当はひいて言えば、
1:02:21	そうですね。次、いいのか解放基盤のところ、増幅してないってことを確認したかったというそういう趣旨です。
1:02:30	あとは、13番ですかね裏が開いて13番、ここは、
1:02:38	御社は2014地震推本の2014を示されているんで、我々からは、2020も出ているし、その判断根拠、判断後継エビデンス小、
1:02:50	エビデンスが異なるということであるとか、あとは、そういう2020も踏まえてちゃんと上端、下端を設定してくださいねという趣旨だ。
1:03:01	シマ主旨っていうか、
1:03:03	指摘。
1:03:05	自体はそういうその切り口で、指摘させてもらったんですけど、ただ、
1:03:12	指摘そのものは別に、
1:03:15	そこに主眼が置かれているのではなくて、これはもう、部長も発言してますし、私からもね押しをしましたし、これまでの、
1:03:24	海士岬沖の北端の話、その翌週だったかな、翌週の9電の玄海の話も、
1:03:35	そうだったんですけどそういう
1:03:38	長期評価、
1:03:40	推本ですね、地震本部のそういった知見の取り扱いですよ。
1:03:45	そういったところを踏まえて、
1:03:48	ちゃんと
1:03:49	上端下端を設定してくださいってことで、別に我々その判断根拠の詳細がどうかとか、別にそういう観点で、ご説明されたいのであればそれは別に止めはしないですけど、
1:04:01	そもそもそんな判断根拠という、何だろうな、話じゃなくて、そもそも推本の最新知見の取り扱いをどうしたらいいんですかっていうところが、
1:04:13	我々のコメントの趣旨、主旨っていうか、着眼点であり、重視してるところなんで、そういうことを踏まえて、コメント回答。
1:04:25	をさせてもさしてもらえればと思いますし、ちなみにこれもアノ部長から一言、私は苦言を指されてるんですけど、2020について、
1:04:36	御社は審査会合の中で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:40	これ、多分甲斐さんから指摘したときに、いやいや 2020 を見てますって いう話をされたんですけど、多分それは、部長からは、紙に書いてなけ れば、それは見てる見てないは、
1:04:52	言っても仕方がないとは言わないですけど、意味がなくて、それはもし 見てるんであればそういったことはしっかり、紙に書いてこそ、審査会合 で、その建設的な議論をするためのベースであるんで、
1:05:06	と言われてますんで、これは別に、これもですかね、この地下構造評価 だけではないんですけど、他の分野も含めて、もし御社がそういった最 新の知見を見てるんであれば、
1:05:17	それはしっかり、
1:05:20	ヒアリング資料もそうですし、審査会合資料にそういったことを明記して もらえればと思っております。まずすみません私の方からコメント 1、7、
1:05:32	13 ですかね、のちょっと少し背景とか、
1:05:36	経緯、部長とのやりとりをお伝えしたんですけど、この点まず 3. 以降で、
1:05:46	北陸電力藤田です。アノさんコメントありがとうございます。
1:05:50	13 番の、
1:05:52	試験の件につきましては我々も介護でも申し上げましたけども、
1:05:56	最重要な知見というふうな位置付けで、そういうものを考えておりますん で、
1:06:03	それをもって普通の人にはソウノデータがいると思ってますので、そういう ものが基本的に積み上がる可能性は非常に小さいのかなというのと考 えてますんで、そこ、そういった意味でこういった
1:06:15	コメントの整理をさせていただいてますので、
1:06:17	よろしくお願いします。
1:06:19	あと
1:06:20	ちょっとす。
1:06:21	記載の仕方がすごくまずかったかもしれないんですけども、236 ページ 等にですね、2014 と 2020 の関係を少し、
1:06:29	※書きみたいところで書いてる部分あるんですけども、しっかり最新 の年代のものはこうだということもしっかりは入ってますね。
1:06:41	資料を作るべきだったかなというそこは反省してますので、今後試験す べて網羅的に記載して説明しています。それは地下構造だけじゃなくて 今後の審査の中で、新しい知見があればしっかり、
1:06:54	かえって、
1:06:55	ヒアリングで説明した上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:59	説明を行いますのでよろしくお願いします。以上です。
1:07:04	を、
1:07:06	規制庁ノダです。藤田さんありがとうございます。はい。ナンバー13番の件、御社としての、
1:07:13	コメントを踏まえた対応方針であったり、あと、最新の地形の取り扱いです。ね取り扱いというかそういったものは、しっかり審査会合資料ヒアリング資料に明記されるということこれは
1:07:24	他の分野も含めて、確認できましたんでは、承知しました。
1:07:29	あとはですね
1:07:34	何だろうな。
1:07:36	さっきの呉さんの発言とも若干関連するんですけど、
1:07:43	コメントの修正、
1:07:45	今回のこのコメントの修正は、
1:07:48	他はない。
1:07:51	例えば、No.4とか、
1:07:53	ここは特に、
1:07:54	御社として、今の、
1:07:59	ラップアップ、
1:08:02	趣旨だったり、背景だったの。
1:08:04	だったりそういったことのやりとりを踏まえてこのNo. 4は特に変えない。
1:08:09	変えることは考えていないということか。
1:08:11	どうか確認させてもらっていいですか。
1:08:13	コメントNo.4ですね。
1:08:30	北陸電力の徳田です。今いろいろ確認をさせていただいたところを踏まえ、今、このナンバー4につきましては2行目のところ高度差の成因を考察した上でというような、
1:08:44	記載方法させていただいていますけども、形状とかそういった言葉にちょっと修正をさせて修文をちょっとさせていただいて、
1:08:54	させさせていただければなというふうにちょっと思っておりますが、
1:08:59	以上です。
1:09:01	規制庁野田です。徳田さんありがとうございます。はい。私の確認事実核の趣旨もそういうことです。
1:09:11	これは誰か言ったのかな。藤はちょっとあんまり記憶にないんですけど。
1:09:16	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:17	成因ってずっと
1:09:20	今、我々やろうとしてんのはその地震動評価で、こういったコメントに書かれている通り高度差が地震動へ与える影響について検討することなんですよね。
1:09:31	で、その検討するにあたって、
1:09:34	どこまでできるかわかんないですけどじゃあ、その
1:09:37	高度差が、どういう、形状形状ってのはさっき原田からも確認させてもらったんですけど、こういう学校
1:09:48	だけなのか、もしくは傾斜してんのか、そういう高度サノコウ形状の話があって、繊維なんてのは多分そのまた先の話なんで、先っていうか、その
1:10:00	もっと何だろうな、
1:10:03	元データというか、エビデンスというかそういう話なんすよね。で、正直、
1:10:08	線は、別に触れるこしたことはないんですけどここでは、多分、絶対必要な、
1:10:18	データというか、
1:10:20	話情報ではないと思うんですよね。
1:10:23	欲しいのはやっぱり、その影響するのかわからないのか、そういった影響を、
1:10:28	検討するにあたって、高度差が、本来であれば、こういった広がり
1:10:34	こういった広がり、こういった形状をしているかとか、多分そういうことじゃないかと私は思っているんでおっしゃる通り、徳田さんがおっしゃった通りで、別に成因にこう考察にした上でと書くと、また、
1:10:51	ちょっと観点が違うんじゃないかと、いうことを、私なんか思うんではない。そういった形で修正していただければと思います。
1:11:00	というわけで、少し、おそらくこのコメントリスト、今日のラップアップのやりとりを踏まえて、いくつか修正があることかと思うんで、
1:11:12	また修正できたものをお送りいただければと思うんですけどこの点はいかがですか
1:11:20	北陸電力の徳田です。了解いたしましたして速やかに修正をさせていただきます。また共有させていただければというふうに思っております。以上です。
1:11:32	規制庁野田ですけどありがとうございます。
1:11:36	はい、承知しました。
1:11:38	あとコメントリストの件で、御社から何か追加。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:42	の確認とかありますか。ちょっとですね、私、この後審査会合資料で、直してもらいたいところがあって、お伝えしたいんですけど。
1:11:58	北陸電力の徳田です。コメントリストにつきまして特にございませんので、また、よろしくお願いいいたします。以上です。
1:12:07	規制庁野田ですけど。ありがとうございます。じゃあ、コメントリストはこれで。
1:12:12	とりあえずおしまいにした後、審査会合資料で、その何ヶ所かな、今後に向けて直してもらいたいところがあるのもう審査会合では、
1:12:24	形式的なところなんで、伝えなかったんで今お伝えしてもよろしいですか。
1:12:29	北陸電力徳田です。よろしくお願いいいたします。
1:12:33	はい、ありがとうございます。まず、4 ページ目。
1:12:41	の、上の箱書きの 2 行目ですかね。
1:12:44	真ん中からちょっと先に、要求事項を踏まえて書いてあるんですけど、これ解釈別記には要求事項なんですけど、審査会度は要求事項じゃなくて、
1:12:57	我々確認として使っているんで、そこはちょっと、解釈別記には要求事項なんですけどガイドを要求事項ってのはちょっと言い過ぎなんで、ここは書き分けが
1:13:07	必要です。従って、ガイドのところは例えば確認事項とか、そういった形で記載してもらえればと思いますし、これ多分ほかにも出てくるかと思うんで、
1:13:20	何ですか。
1:13:20	水平展開をお願いできればと思います。
1:13:24	とりあえずもう朝言っちゃいますね。ずっと。あとはどこだ。
1:13:30	と。
1:13:33	あと 190、ちょっと進んで 193 ページ。
1:13:47	ここです。3.3 のところの(2)と(3)例えば(2)でいうと、二つ目の丸の最後に、最後じゃないな、二つ目の丸の 2 行目の最後に、地震基盤より深部の速度構造ってここは、
1:14:02	地震基盤よりって使い方をしていて、他方で(3)番の、一つ目の丸の 1 行目のところは、地震基盤面 1 より深部の速度構造というのは、
1:14:13	ここはちょっと、もし、地震基盤と地震基盤面を意図して使い分けてないんであれば、
1:14:23	記載の統一が必要かと思っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:30	あと最後はですね、228 ページ。
1:14:40	ここはちょっと
1:14:42	何つつたらいいですかね。私は別ですけど、外の人がわかるかなという 意味で、例えばここ、推本の資料を引用されていて、
1:14:52	右下の図だと、とナミヘイや断層体が西部東部って分けているんですよ ね。他方で、その上の
1:15:03	表を見ると、上から 2 段目んところのトナミ部屋断層体が、特に西部と か東部とか、
1:15:11	書かれることなく、トナミ部屋断層体って書いてあって、これ、
1:15:17	何だろうな、わかんない人が見たらこれが下で書いてあるものと同じな のか。
1:15:22	違うのかとか、そういうことを、
1:15:27	混乱を招くんじゃないかと思う。ここはちょっと記載の工夫が必要かなと 思っています。
1:15:32	そんなところかな。
1:15:34	はい。とりあえず、この 3 点はいかがですか。
1:15:40	北陸電力山田でございます。今おっしゃっていただいた 3 点については その通りかなと思いますので、大きく見直させていただきたいと思いま す。よろしくお願いします。
1:15:52	はい、ありがとうございます。すいません本来であれば、も何ですかね。
1:15:59	審査会合の前段階ヒアリングとかで、お伝えできればよかったものの、 ちょっとこのタイミングになってしまって、申し訳なかった部分もあるん ですけど
1:16:09	はい。ちょっと気づいたんで、お伝えをしておきます。
1:16:14	あとは、
1:16:17	何だっけな、データ集の方。
1:16:21	データ集のほうで 1 点お願いしたいのは、
1:16:25	えーとですね。
1:16:26	地震観測記録の
1:16:28	全データの一覧。
1:16:32	多分ですね、私のイメージでは、これ、地震観測記録はわかんないすけ どコウ 300 ぐらいコウ、本当は観測記録として全体はあって、そのうち、 目的に応じて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:44	コウ 300 ナカからコウ、このAという検討ではこの 50Bという検討ではこのうち 100 とか、多分そういう使われ方をしているんじゃないかと思う。そういう使われ方をしていると思うんですね。
1:16:57	そういうことをされているんで、そもそも、
1:17:01	地震観測記録の全データっていうのが、
1:17:04	ないと思ってんですかこの点いかがですか。
1:17:11	北陸電力山田でございます資料中確かに全体が母数がどれだけあって、この検討にこれ使ったっていうところちょっと読めないところありますので、その元データの母数のところもしっかり整理して、
1:17:24	お示しさせていただきたいなと思います。
1:17:26	よろしくお願いします。
1:17:34	はい
1:17:39	はい、野田です。ありがとうございます。はい。その調子でお願いできればと思います。はい。とりあえず、私からは、
1:17:47	以上ですけど、もし、
1:17:54	企業配布の方も何かあればお願いします。
1:18:09	益子。
1:18:11	では、
1:18:12	なければ、いや、規制庁ハラダです。
1:18:15	なければ、10月20日の審査会合のラップアップ面談は、
1:18:22	以上になります。
1:18:26	よろしいでしょうか。
1:18:29	北陸電力の徳田です。こちらも大丈夫です。ありがとうございました。
1:18:34	正常ハラダですありがとうございました。
1:18:36	では、ラップアップ面談は終了します。

-
- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2件目 笹波沖断層帯と能登半島北部沿岸域断層帯の連動について	
1:18:40	次は、次は 2、
1:18:48	はい。
1:18:49	次は笹波沖の海域の
1:18:53	活断層の
1:18:57	について土佐佐貫断層対藤ノダ秦沖北部沿岸断層体の連動の検討について、
1:19:05	の面談に入り、移りたいと思います。
1:19:08	まず、ご説明をお願いします。
1:19:14	説明を。
1:19:18	はい。
1:19:19	FLIP電カインダです。
1:19:22	そうしましたら簡単にですけれども、10月6日の審査会合でのコメントのうちですね、
1:19:28	今ほどありました笹波沖断層ダイトウと猿山沖セグメントの連動の評価結果について、連動を考慮してます坂上。
1:19:35	喜多ホデの神戸西部と、
1:19:37	マルヤマとセグメントから六甲セグメントまでの連動評価結果の違いを示すためのコメント回答案。
1:19:44	についてちょっとご説明させていただきたいと思います。
1:19:46	回答案としましては1ページにあります、対象となる六つのセグメントのそれぞれの連動の検討結果を表に整理しております。
1:19:56	この文献調査結果等、連動の検討結果を整理しておりますこれを比較しますと、まず左側のオレンジ色で着色しております。
1:20:07	佐貫断層で全長につきましては、
1:20:10	エンドウが否定できないと。
1:20:12	する分岐が存在しているということから連動を考慮しております。
1:20:16	また連動の検討結果から見ましても、海上音波探査ですとか、変位量分布の結果から、この東部と西部の断層が連続しているということ等を踏まえますと、
1:20:26	同時に活動する可能性があるというふうに我々判断をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:30	続いて水色の方で着色しました能登半島北部沿岸非難相対につきましては、アサノミキ断層サイゼンと同様に、連動を考慮している文献が存在して、
1:20:41	ということで連動を考慮するということをしております。
1:20:45	また連動の検討結果からも、重力異常ですとか、営業分布、
1:20:49	のデータからは、連動しない。
1:20:51	いうふうな可能性を示唆するデータもございますけれども、
1:20:54	海上音波探査から推計した断層トレースが、それぞれ直線上に相関を伴って分布していると。
1:21:01	いうことを踏まえますと、やっぱり四つのセグメントが同時に活動する可能性は否定できないというふうに判断をしております。
1:21:09	一方でですね、このオレンジと水色の境界であります。佐貫断層ダイトウ部と猿山沖セグメント間につきましては、この連動を考慮した文献がないと。
1:21:19	いうこともありますし、連動の検討の結果からも、連動する可能性を示唆するデータはないと。
1:21:25	いうことを踏まえますと、総合的に判断して、連動を考慮しないというふうに評価をしておりますして、笹森断層で前兆ですとか、ちょっと担当の国分が断層体のような、
1:21:36	連動を考慮したケースは異なるというふうに判断をしておりますして、この連動を考慮しないとした評価は妥当である。
1:21:43	いうふうな判断をして、
1:21:45	したいということで、こういったコメント回答案を整理させていただいております。
1:21:51	簡単でございますが説明は以上となります。
1:21:55	規制庁原田です。
1:21:57	ありがとうございました。これについて、
1:22:00	規制庁側からコメント、何かコメントありますか。
1:22:15	規制庁の海田です。
1:22:18	今こういった形で一覧を整理されてるということで
1:22:25	資料上こういろんなところにバラバラにあったものが一目でわかりやすく整理されたというそれは
1:22:35	これで見やすくなっていると思うんですけども、
1:22:39	ちょっとこの項目自体について確認なんですけど、
1:22:47	連動の検討方法とかっていうところ、図、その資料でいうと 30381 とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:56	ステップ 3 ですよ。ステップ 2 だと、いろいろ、
1:23:02	書いてあって、
1:23:05	そこでは断層の傾斜方向なんか、地質構造、地震活動とか、
1:23:11	そういった形で、
1:23:14	こういったものを考慮して、連動の検討しますっていうのと、
1:23:20	今この、今日いただいた資料でいくと、
1:23:25	海上音波探査とか重力異常とか、
1:23:29	要は地質構造とか、そういった地質構造の連続性とか、そういったのが 出てこないんですけど、これどういうふうに関連づけられているのかと か、
1:23:41	ていうのは
1:23:43	いかがなんですかね
1:23:46	こういったことを検討事項にしますっていうのと、
1:23:50	さらにブレークダウンしてるのかまた別々のことを言われてるのかちよつ とわかりづらかったんですけどここは
1:23:57	そのまず構成をオノ教えてください。
1:24:02	保育園、北陸電力 1 社です。
1:24:04	今 381 ページをご覧いただいているかと思えますけれども、今海田さんお っしゃられました、例えば傾斜方向ですとか、地質構造の連続性とか いったものはですねステップ 2 の方で、国による連動評価事例として国 はこういった判断基準を、
1:24:20	やって、整理していると、いうことを確認した結果を整理したものになり ます。
1:24:25	我々の評価方法、検討方法といたしましては、この 381 ページの黄色 四角で書かれた図になりまして、
1:24:35	この部分で、既存文献の調査ですとか変動地形学的調査、地質調査打 ち切り物理学的の、
1:24:41	その結果から、地形、地質構造断層の活動履歴等に基づいて連続につ いて総合的に評価を行うと、これが原則の我々が今、連動評価を行う 手法と考えております。
1:24:53	その中の既存文献の調査、この表で当たります文献調査に当たります し、地球物理学的調査というおっきい項目の中で、オンタンですとか重 力異常分布して構造等を整理させていただいていると。
1:25:06	そういった立て付けになっております。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:10	はい海田ですわかりましたこの欄の要は地形及び地質構造っていうのと、菅断層の活動履歴っていうのが、
1:25:21	あってすそそれをオノ、
1:25:24	どういうふうに、
1:25:26	見ているのかっていう、それをブレイクダウンしていると。
1:25:31	いうこと。
1:25:33	かなというふうに考えました。
1:25:36	そこはそう。
1:25:39	だとしまして
1:25:45	で、その中身に入っ。
1:25:47	て確認したいんですけども、主に見ると過去のセグメント間の状況っていうところだと思うんですけど、
1:25:55	以前、かなり
1:26:01	聞こえていますでしょうか。
1:26:03	すいません。
1:26:04	北陸電力社、聞こえております。はい。今ちょっとこっちで画面が見られたんでとりあえず音声だけはお伝えし、
1:26:13	します。
1:26:15	以前断層の傾斜方向をかなり重視してて、傾斜はどうのっていう
1:26:22	傾斜は同じ、違うっていうところかなり強調されてた時もあったし、
1:26:27	ありました。ここあと、褶曲構造の連続とかっていうのは特にパッと見て、特に
1:26:36	オレンジとコウ青野間のセグメント間の状況、ここできてないんですけども、こういったことは言及しないんでしょうか。
1:26:49	クリック電カ一緒です。
1:26:51	ですね傾斜方向の情報につきましては、海上音波探査の基礎情報としては、オレンジとか水色のところで記載させていただいておりまして、
1:27:00	セグメント間の状況として、それぞれの傾斜方向が違うかどうかというところは、一つ情報だというふうには考えております。
1:27:09	ただしですね今回のこの笹波
1:27:13	の西部から六甲セグメントの六つに関しましてはいずれも同じ傾斜方法ということで、
1:27:21	ということもあるんですけども、この傾斜方向が同じ。
1:27:25	イコール連動、
1:27:29	のいわゆる根拠データ連動するという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:32	国が根拠データになり得るかといったら我々としてはそこまで同じだから必ず連動するというは考えてませんので、今回、こちらの白樫の方には記載しておりませんでした。
1:27:45	で、2点目が、褶曲構造についてですけども、
1:27:51	おっしゃる通り
1:27:53	能登半島北部沿岸総体の四つのセグメントに関しましては、
1:28:01	183
1:28:05	4、
1:28:08	200、
1:28:10	91ページの方ですね、291ページの方で、この褶曲構造、背斜構造の連続性ですね、背斜構造の連続性について検討し、
1:28:19	まして、それについても、今回の面談資料の方に、
1:28:25	あ、すいません、面談資料の方には、
1:28:28	反映しておりません。すいません。鳥栖 291ページの方に、4、この四つのセグメントについては、目整理しておりましたので、同様に、この笹波沖断層ダイトウと猿山オオウチセグメントの間に関しましても、
1:28:42	こういった文献調査等の結果からこういった背斜構造の連続性が見られるかどうかという点につきましても、追加していきたいというふうに考えております。以上です。
1:28:54	はい。海田です。は、
1:28:55	そういった意味では今ちょうど 291ページ出てきてまして
1:29:00	これ会合のときも、ここの間の種
1:29:05	連動を考慮している根拠の一つとして、ここの 291 っていうのは結構、
1:29:11	大きい
1:29:13	ような位置付けだと、というような説明もあったんですけど、それとの比較で、
1:29:19	この
1:29:22	笹波沖との間はどうなんだっていうところが、
1:29:25	なかったんで、
1:29:27	ちょっと確認させていただいたので、
1:29:30	その辺りはまたちゃんと説明していただきたいと思ってます。
1:29:35	今私断層の傾斜とか褶曲っていう話を
1:29:39	お話しているんですけども、
1:29:42	そこがこの表を見ても、4 連動してるところはちゃんと、
1:29:48	全部赤になっている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:51	笹波沖の東西も赤になって、ここは大戸。
1:29:55	なんか数、その違いがあるのっていうのはこの表にしてわかりやすくなったんですけど、
1:30:01	甲斐今海上音波探査っていう欄に入っちゃってんですけども、要は地質構造の連続性っていうのが
1:30:09	それが大分こう違いを表してて、
1:30:13	下の重力とか比抵抗っていうのは、
1:30:17	4連動してるところの間でも繋がってなかったりとか、
1:30:21	そういうのもあるので、
1:30:23	この地質構造のところっていうのはそういった形でもうちょっとちゃんとう、
1:30:30	内容はこの表はこういうふうに整理されてると思うんですけど今後ちゃんと。
1:30:35	確認はしていきたいなと思って今考えてます。
1:30:41	なので、ちょっと先ほどちょっと傾斜はとか、終局はということを申し上げたんですけど、地質構造の連続性というところは今後、しっかり見ていきたいと思えますんでそこがわかるような形で、
1:30:55	まとめていただきたいなとざっとざっくりとした形なんですけれども
1:31:02	その点ちょっと気づいた点ですので申し上げますので、
1:31:06	よろしくお願いします。
1:31:11	トリック電力一緒です。承知しました。
1:31:13	この今の地質構造の連続性についてですね、今赤字で書いてありますのはどちらかというと地表トレース的な意味での、直線状に閉塞感を持って準備するというような、我々判断ではある。
1:31:25	しておりますけれども、そういった、
1:31:28	また別な観点でこういったのは、我々背斜構造年数という観点で検討しておりますので、そういった意味で、そういったものが笹波沖断層ダイウマルヤマオクセグメント、また、この笹波沖断層大の西部等の間で、
1:31:40	そういったところでも、見られるか見られないかという点で比較できるように、整理したいと思います。以上です。
1:31:48	はい甲斐です。よろしくお願いします。今褶曲の話、地質構造の話で、
1:31:54	この際なので確認ですけど2、2ページを見ていただくと、
1:32:01	黄色いエリアがあって笹波沖と猿山沖の間、
1:32:06	ここって両者を跨ぐように、ここ赤色の線、これ多分主背斜か。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:13	高坂だと思うんですけどこれがコウ呉間を繋がるように雁行するというか、
1:32:21	戦い違いに繋が連なっているんですけど、
1:32:25	こういったのはどう考えられてるんでしょうか。
1:32:30	北陸電力の石田です。こちらについての検討につきましては、484 ページの方ですね、介護資料の 284 ページの方に、
1:32:43	検討はされ、
1:32:45	しております、
1:32:48	実際、
1:32:49	484 ページの方で我々考察しておりますのは、このオザキ 2010 の陸域のいわゆる産総研さん出している塾の解説書によりますと、
1:33:01	これらの褶曲というのは古い構造ではあるんですけども、いわゆる笹波沖断層体の層厚と似たような走向で、県混在して、
1:33:11	存在している可能性があるかと推定されている。
1:33:14	ただ、そういったものの延長部に行きますと去る秋セグメントの屈曲部の方に対応するんですけども、こういった屈曲部の方、屈曲部の層厚、いわゆる結構N-Sに近い双方に、
1:33:29	あるような褶曲は見られないということで、基本的な、
1:33:34	動きというのは昔からこのNESW方向で動いてきたのかなというふうな考察をしております。
1:33:41	そういった意味でも、やはりマルヤマのメインとしてはやはり、この北川のNESW5 個の層厚かなというふうに考えてましてそういった意味では、やはりこの四つのセグメントと離隔距離と、マルヤマオオキセグメントと並みの、
1:33:56	離隔距離等も考えますとやはり違う構造なのかなというふうには、内心考えております。以上です。
1:34:04	はい海田です。はい 484 ページもこちらの方でも見てまして、
1:34:11	なのでこういったところ、違いがあるっていうんならさっきの表と合わせて説明をもうちょっと詳しくしていただきたいのと、
1:34:20	あとこの 484 ページと、面談資料の 2 ページ
1:34:26	を見比べると、これ
1:34:28	484 ページは赤い褶曲構造が、
1:34:32	コウ、
1:34:33	ナカ、これ意図的じゃないかもしれないんですけど、何かピタッとちゃんとう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:40	猿山オオキセグメントのところではびたっとコウなくなってるようにも見えるんですけど、実際今日の資料の 2 ページとかこれ、
1:34:48	見ると、海の方にもコウ、
1:34:51	あるんですよねこれ、海のところ書いてないからこういう図柄になってると思うんですけど。
1:34:56	ちょっとこう、
1:34:58	その辺りもう
1:35:01	一見この 484 ページを見ると、
1:35:04	本当びたっと亡くなってるようにもちょっと誤解して読めたりもしますので、
1:35:10	この辺りはちょっと
1:35:14	もともとの像をちょ忠実に示していただいた方がいいかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:35:23	北陸電力一緒です。
1:35:26	おっしゃる通り、この 484 ページの図はですねちょっと陸域は文献の地質図を使っておりまして、海の海域につきましては、我々が作成した、このD層の等深線図を、
1:35:38	結合した図になっておりますのでちょっとこういったところが、切れたような表現になってしまって申し訳ないんですけども、今 2 ページのものに関しましては、文献、
1:35:49	その背景のものにつきましては、文献そのものを使っておりますので、そういったところ、ちょっと気をつけて、
1:35:57	この辺りの解釈ですね、を、説明で加えたいと思います。
1:36:02	以上です。
1:36:04	はい海田です。わかりました。ではよろしくお願いします。今ほど褶曲とか、
1:36:11	傾斜とか地質構造について
1:36:14	コメント、主にしたんですけど、今日 1 も示された資料の 1 ページも、全体整理するのはこれでいいんですけど、今みたいな形でメリハリをつけて、
1:36:25	大事なところは説明を詳しくしていただいただけるとわかりやすいかなと思います。
1:36:31	よろしくお願いします。
1:36:33	私からは、ひとまず以上です。
1:36:44	規制庁原田です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:46	一つちょっとお伺いしたいのが、
1:36:49	面談資料 1 ページで、
1:36:52	最新
1:36:54	勝断層の活動履歴で、
1:36:58	最新活動の時期が不明と書かれておりますが、
1:37:03	これは調査したけど、
1:37:06	わからなかったっていうことがそもそも調査がされてないので不明なのかっていうのは、どちらでしょうか。
1:37:16	北陸電力 1 社です。こちらの最新活動時期に関しましては文献調査等を行った結果、明確にわかる。
1:37:23	記載がないということで、不明 2 名として書かせていただいております。で、いわゆるデータがなくて検討していないというようなものにつきましては例えば、指定校構造のような、
1:37:35	斜め線のような形で表記させていただいております。以上です。
1:37:40	規制庁原田です。
1:37:42	わかりました。ありがとうございます。
1:37:46	を、
1:37:50	規制庁の宮脇です。ちょっと確認させてもらいたいんですけども、
1:37:55	ノート版等、北部沿岸域断層体で文献調査の
1:38:02	うち国交省と文科省についてはれんグルーピングないしは連動、
1:38:08	考慮している。
1:38:09	という内容になってますけども、これって
1:38:13	その理由っていうのは全く何も書かれてないんですか。
1:38:16	どういったところに着目してグルーピングしたとか、考慮したと。
1:38:21	ここに、
1:38:21	記載されてないんです。
1:38:25	北陸電力 1 社です。えっとですねまず国交省の方ですけども、こちらについては、
1:38:33	一応簡単な理由はそれぞれ書かれてるんですけども、この東北弁が 2 断層隊のグループに関しては、
1:38:39	正直、詳細な検討がなされている片田、この四つのセグメントつなげているというような表現しか書かれていなくて明確な理由としては書かれておりませんで、
1:38:50	いわゆる根拠データが何なのかっていうところは、ちょっと我々の資料にも、記載していないというのが事実でございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:57	さらに、この本仮称ほか 2015、2016 につきましては、それぞれNT4Nto nT6 のそれぞれの断層モデルを、どういったふうな観点で見たか。
1:39:09	なぜ一連としてつなげたかというところにつきましては記載ございますけれども、このNT456 をつなげた理由は明記されておりません。
1:39:18	ただ文科省他は、ここ他を参照して、
1:39:23	作られてる文献でもありますので、おそらく国交省が 2014 がグルーピングを見ているということから、この文科省他も合わせてNP456 の、
1:39:33	年度を見ているものというふうには我々想定はして、以上です。
1:39:40	ありがとうございます。
1:39:41	これ文科省っていうのは、もう連動っていう言葉を使わずにグルーピング
1:39:47	っていう言葉を使ってるようなんですが、これは何か理由があるんですか。
1:39:53	グルーピングという言葉が使われてるのは、おそらく国交省の方でして、
1:39:58	これについては、
1:40:00	どういった、
1:40:02	関連というかな、なぜこの言葉を使ってるのかというところまでは読めないんですけども、用語の定義の方を見ますと、
1:40:10	いわゆる最大規模を想定するときにはグルーピングしていますというような要望が使われていますので、この文献の記載に従って、ここではグルーピングしているという表現を使わせていただいて、
1:40:22	以上です。
1:40:24	はい、ありがとうございました。
1:40:27	あと、
1:40:30	先ほどの、
1:40:32	ハラダのコメン等にもちょっと関連するんですけど、
1:40:37	最新活動時期で、最新活動時期が異なるという表現が、
1:40:43	ありますけどもこれは 2007 年能登半島地震、
1:40:48	当行となるという意味なんですか、それともアノコウん。
1:40:53	個別には、
1:40:55	そうじゃない時期、
1:40:57	がわかってるということ。
1:41:01	北陸電力一緒です。
1:41:03	よ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:04	まず、笹波沖断層ダイトウ部の両脇にあります耐震活動時期が異なるにつきましては、この 2007 年能登半島地震と、最新活動時期が異なるという意味で、規制をしております。
1:41:16	また、この真島沖セグメントのところにあります 1729 年の佐渡の地震の両脇にある最新活動時期が異なるにつきましては、この能登佐渡の地震と、
1:41:26	異なるという意味で使っております、ちょっとわかりにくい表現となっておりますね。何。
1:41:31	と比べて上で最新活動時期が異なるということがわかるような表現に直したいと思います。以上です。
1:41:39	了解します。それをお願いします。
1:41:45	と、これー、
1:41:50	見た感じではですね
1:41:54	重力探査、物理ダンサー、
1:41:57	ではほとんど連動する根拠がなくてええと、
1:42:03	特に地形、
1:42:05	というか断層トレースを重視して、
1:42:09	連動のを判断したというふうに見えるんですけども、
1:42:18	ちょっとわかりにくいのは
1:42:21	能登半島北部沿岸域断層体と、それから、
1:42:28	笹波沖断層対全長のその連動ですね、それ。
1:42:33	の理由が直接
1:42:37	丸不連続であるということと屈曲していないということ。
1:42:41	この 2 点を挙げているということですね。一方その差が笹波沖断層泰然の東部と西部の
1:42:49	その連動、
1:42:51	については連続して分布するという、
1:42:55	ところが、
1:42:57	上げてるんですけども、屈曲するという点については同じというふうに考えてよろしいんです。
1:43:07	北陸電力 1 社です。
1:43:09	おっしゃられるように、猿山オオキセグメントにつきましても、この笹波沖断層田井東部につきましても、オク東端付近は少し屈曲するような形状を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:20	ただしその屈曲部の規模感が大分違うものと我々考えておりました、浅利アベセグメントかなり大きく接しておりますけれども、
1:43:29	アラマキセグメントにつきましては、多少の屈曲、
1:43:32	プラス、やはり音波探査の
1:43:36	記録を見ますと、この猿山の喜田アサノ宮城断層財政部と東部につきましては、
1:43:42	そういう半分になるような、
1:43:44	測線は、なく、連続して、
1:43:49	このトレースが認められると。
1:43:51	ただ、2007年のドランド地震で、震源断層の範囲が明らかにされてますので我々この凍土整備につきましては、一旦セグメント分けということで切らせていただいておりますけれども、
1:44:03	実際音波探査としてはかなり連続していると。
1:44:05	ただ猿山沖セグメント笹波断層対抗分につきましては、やはり間に、
1:44:12	断層がなくなる測線が存在すると。
1:44:16	ということが、かなり大きな違いかなというふうには考えております。以上です。
1:44:22	ありがとうございます。
1:44:24	この能登半島北部沿岸域断層体の中の各セグメント等についても、
1:44:30	これは
1:44:32	連続してな、併走してるっていい。
1:44:36	点。
1:44:37	そうはしてるんだけど
1:44:40	連続してないという点では、
1:44:44	笹波沖断層ザイゼン町と能登半島北部円会議
1:44:48	断層体、
1:44:50	との関係とおんなじかなと思うんで、
1:44:53	ちょっとその辺りのですね、と違いがわかる。
1:44:57	あのようですね佐瀬
1:45:00	エンドウの違いがわかるように先ほどのアノ海田が言った褶曲構造とかですね、そういったことも考慮した上でですね、
1:45:09	もう少し明確にさせていただくようにしていただけたらと思います。
1:45:17	北陸電力1社です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:18	はい、わかりました。確かにおっしゃるように、ただ、併走しているという表現だけだと、やはり違いが見えてこないという部分がやはりありますので、いわゆる距離感、
1:45:29	とか、その曲がりの程度、先ほど赤田さんのコメントでもありましたけれども、陸域の背斜構造との関連性ですとか、そういったものも含めて、検討したいと。
1:45:38	以上です。
1:45:40	よろしくお願いいたします。私からは以上です。
1:45:55	規制庁ノダですけど、インダさん詳細な資料の作成、ありがとうございます。で、もう、
1:46:03	今、
1:46:04	お3方からコメントさせていただいたこと。
1:46:11	ほとんど伝わってるんじゃないかと思うんですけど、端的に言えば、
1:46:16	この連動を考えるにあたって、こういった表を作っていた、いただくと、やっぱり一目瞭然なのはやっぱり御社、文献調査っていうものを除くと、
1:46:27	海上音波探査、ひいては、地質構造だと思うんですけど、やっぱりここを一番重要視されているんで、やはりここをもう少し、特にセグメント間の状況ですかね。
1:46:37	記載を、の充実が必要かなと思ってますし、そういったところが、裏を返せば、連動を、
1:46:49	否定する材料になってくるんだと思っています。
1:46:52	それで、
1:46:55	例えば、
1:46:57	私なんかはこの今セグメント間の状況の御海上音波探査のところで、断層がないの後に、コウ断層のトレースですかね、斜め字状に分布って書いてるんですけど、
1:47:10	私なんかはむしろ逆かなと思っていてまず、大局的に見た断層のトレースがあって、その間に断層があるのかなのかとか、あとその、
1:47:21	トレースの関係がどういう関係なのか。
1:47:26	今ちょっと宮脇さんから例えば、笹波沖と、この、佐々アサノ牧東部西部の話と笹波沖とこの東部と、この
1:47:36	呉佐山沖セグメントの
1:47:39	ジイジっていうか、屈曲と関係する

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:42	伊佐さんから規模感っていう話もあったかともありましたし、断層があるかないかっていう話もありましたし、あとは、
1:47:52	せっかくここで並びTG分布って書いてあるんですけど、他方で、この、
1:47:57	細かい話なんですけど、笹波駅東部とか、佐山沖セグメントの走向傾斜とか見ると、ほぼほぼ同じに書かれていて、他方で、多分、
1:48:07	記事になってるっていうことはやっぱり、傾斜とか走向傾斜って、その局所的に見れば、やっぱり総合傾斜
1:48:17	違うんじゃないかと思っていて、そういったところはもう少しこう、この資料の中で、わかるといいなとかですね。
1:48:25	あとはまあ、そうですね例えば、資料の、ごめんなさいこれ前回、審査会合資料でさっき石田さんが 484 ページ、ご説明いただいた次のページ、485 ページ。
1:48:39	ここは類似した分布形態に示す事例ということで、ヤマザキ断層体との比較があるんですけど、これって、
1:48:48	上は、
1:48:50	今んところ否定します。他方で、こういうのは連動してますっていうので、
1:48:54	書かれているんですけど、例えばこういう地震調査委員会の評価事例の中に、例えば
1:49:03	上の、
1:49:04	笹波東部と佐山沖セグメントと同じように、もうちょっとこう 90 度に近い、こういう定時の分布形態の場合に、例えば否定してる事例なんて、
1:49:16	連動していない事例なんかがあるとそういったものをこの 485 に入れてもらうっていう、
1:49:23	こともあるんじゃないかなと思うんですけど、インダさんこの点いかがですか。
1:49:28	北陸電力 1 社です。
1:49:31	藺田さんおっしゃられるように、こちら 485 ページは、ヤマザキ断層体との比較、これはヒアリングで、コメントをいただいた。
1:49:40	ことでちょっと整理した資料になりますけれども、実際 378 ページの方に、地震調査委員会による現状評価事例ということで、我々、調べた、
1:49:51	以後の長期評価の事例ありまして、その他欄の中に、倉庫が異なると書かれてるものが幾つかございます。そういったものを見ますと、
1:50:01	二川と檜垣断層ではちょっと隈元さん自身があったのでちょっとそれは除きました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:07	と、大体 45 度以上異なる場合は、
1:50:11	走向が異なるということで連動見てないというような、実際、
1:50:16	調査結果になります。
1:50:18	実際この笹波とマルヤマですと、大体掴め今回の資料に書かせていただいたんですけども、
1:50:26	4 ページですね。
1:50:32	4 ページの、この猿山島弧笹波東部の境界として、斜めて異常に分布するということで、ここでは括弧書きで、約 60 度というふうに書かせていただいております、
1:50:43	その上には、今、ご説明させていただきました地震調査委員会が大体 45 度以上の場合は、別の起震断層と評価していると。
1:50:51	ということで、整理させていただいております。こういったところが、いわゆる、
1:50:57	わかるようにですねこの表にもちょっと工夫して、
1:51:02	文献との比較ですね、そういったものもちょっと入れたいなとは思いますが、以上です。
1:51:09	規制庁野田ですけど、イシダさんご説明ありがとうございます。そうなんです。石田さんご説明の通り、
1:51:15	面談資料の 4 ページだとそういったことが書かれている一方で、実はこっちの一覧表には、残念ながら、そういった情報が書かれていないので、私なんか先ほどちょっと冒頭にお伝えした通り、まずはその大局的な
1:51:28	とりあえずそれが、どういう
1:51:32	佐山沖と、笹目東部との関係がどういう関係になっていてそういったものを例えば、水ホンダと連動して評価しているのかしてないのか。
1:51:42	評価していない事例なんかも挙げてもらった方が、説明性が上がると思いますし、あとは、細かい話を言えばその下、角度が、先ほど 60 度って話があったんですけど、
1:51:53	60 度で 60 度であったり、あとはあれですよ、そういったところに、ここにも書いてある通りそういった断層断層間で、断層が、
1:52:04	見あ、そうでごめんセグメント間で断層が認められないとか、あとは、
1:52:10	何ですかね、周辺場とする情報として先ほど甲斐さんが言われた通り、背斜構造が認められるのか認められるか、やっぱり少しこの地質構造という、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:22	実構造的な観点で、この海上音波探査のところを、の記載を充実してもらえると、やっぱりこれが
1:52:33	他との差異差別化になり、従って、こういったところはこういったところから、笹波沖と、佐山オオキセグメントを連動させる必要がないという、
1:52:45	根拠になるのかなと思いますんで、もう多分今日のやりとりで、
1:52:51	殊十分というか、ご理解いただけたと思うんで、少しそういった面で記載の充実をお願いできればと思いますけど。
1:53:00	いかがでしょうか。
1:53:05	はい、北陸電力の野原です。
1:53:07	今日の面談でいろいろご指摘いただきました件、終局の情報ですとか、
1:53:13	例えばこの
1:53:14	層厚さ以上の分布の情報、こういったものを、今一覧表に出てなかったりばらけたりしておりますので、そういったものの情報を加えまして、この一覧表を充実させて、
1:53:24	それで今日の実績、資料に反映して修正していきたいと思います。
1:53:28	以上です。
1:53:31	規制庁野田ですけどハラさんありがとうございます。そうですねそういったものを、ぜひ、もう、
1:53:38	多分面談は必要ないかなと思いますんで、次回のヒアリング資料にそういったものを、情報をですね、追加したもので、ご準備をお願いできればと思います。
1:53:51	はい。私からは以上です。
1:54:06	で、では以上で、
1:54:08	もう規制庁側から大丈夫です。それでは、以上で笹波沖断層他の話は終わりました、次は、

-
- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3件目(福浦断層の地震動評価方針)	
1:54:17	福良断層の
1:54:19	地震評価方針。
1:54:21	について、
1:54:22	まずは、説明、御社から説明をお願いします。
1:54:29	ノダですけど、藤田さん。
1:54:31	すいません。
1:54:33	私うっかりしていて、もう今 12 時 25 分になってしまっていて、我々の方はこのまま、福浦の方も続けても大丈夫です。御社の方のご都合いかがですか。
1:54:47	石田です。弊社の方も継続してやっていただけるのであればお願いしたいので、お願いしたいと思います。以上です。
1:54:55	規制庁野田ですけど。ありがとうございます。じゃあ、最後福浦の件を、ちょっと手短にはい。お願いできればと思います。
1:55:04	はい。北陸電力山田でございますそしたら福浦の方の資料に基づいて簡単にご説明させていただきます。
1:55:11	資料プラス横に 3 ページ用意させていただいております。1 ページ目の方にですね上に黄色箱書き書いてございますが、こちらの
1:55:23	用紙になってございます。
1:55:25	フクダ断層につきましては先行サイトの審査実績踏まえて地表最短距離地震規模、それからちょっと今回新たに耐専式の適用性というところも含めて、震源が敷地に極めて近い場合に該当しないということ判断してある式により評価を行うということにさせていただいております。
1:55:41	2 番目につきましては、短い孤立した活断層でございますので、基本震源モデルの設定においては、
1:55:49	調査結果から想定される規模に対して大きな規模を設定するというところでこちらは前回もお示した通りでござい
1:55:56	結果の変更点を主にご説明をさせていただきます。
1:55:59	1 ページ目左側でございますけども、こちら先行サイトの審査実績を踏まえた検討になってございます。
1:56:07	一つ目のポチにつきましては全厚サイトの審査実績を記載させていただいておりますが、
1:56:13	震源が敷地に極めて近い場合に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:15	が適用されるかどうかというところは、ここに書いておりますAからCですね。
1:56:20	を総合的に考慮して判断されてるというところでございます。
1:56:24	この二つ目のポチにつきましてはフクダ断層がどうかというところですが、中央最短距離としては1キロメートル程度で至近距離、
1:56:33	にあるものではないということ。それから規模に関しましては基本震源モデルで、清日比に設定しておりますが、それでもMj6.8程度ということで比較的小規模ということです。
1:56:45	さらにというところを新たに追加してございますが、先行サイトの審査の方でかなり耐専式の適用性が明確にされましたので、審査実績等を踏まえまして耐専式の適用範囲内であると。
1:56:59	いうことを今考えてございます。
1:57:02	三つ目のポチになりますがフクダ断層はAからC、Eについてはすべて該当するというので、主に震源が敷地に極めて近い場合に該当しないということを判断して、
1:57:13	スピネル評価を行いたいというふうに考えております。
1:57:16	資料右側がですね今回について新たに追加をしたものになっておりまして、この地表調査結果を踏まえても、
1:57:25	ほぼ震源が敷地に極めて近い場合でないということを公表するようなことを考えてございます。
1:57:31	最初の鍵括弧で地表に変位を伴う断層データを考慮することの趣旨についてというふうに記載しております。おりますが、こちらの審査実績を踏まえて記載したものになっております。
1:57:43	解釈、
1:57:44	規則解釈等ではですね震源が敷地に極めて近い場合には地表に変位を伴う断層全体を考慮すること、これを要求されておりますが、
1:57:52	オクの要求は断層のずれによる庄司より生じる影響影響を地震動評価に反映させるものというふうにされております。
1:58:00	また震源断層の長さや面積が小さい場合、地震のスケーリング則に沿って、地震規模が小さくなると。
1:58:08	断層面上の滑り量も小さくなると。
1:58:10	結果影響の影響が小さくなるということ。
1:58:14	とされております。すなわち地震規模が小さい場合には、地上に変位を伴う断層全体を考慮する必要はなく、レシピによる評価可能であるというふうに考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:25	定款がここまで来まして、これフクダの、
1:58:28	地方調査結果になります。
1:58:30	地表に明瞭な永久変位が認められた地震として熊本地震、Mj7.3 ですか、2014 年の長野県北部の地震Mj6.87 というものがありますが、
1:58:41	これらの地震規模に比べますと、フクダ断層アノ断層等で、
1:58:45	3.2 キロメートルということで非常に小規模でございますし、そこから想定される地震規模もMj6.2 と。
1:58:53	小規模になってございます。
1:58:55	またフクダ断層の活断活動性につきましては、大坪ダムトレンチ調査の結果からですね、等からですね、平均変位速度としては 0.083、
1:59:06	メートル%なんですね、単位変位量で 0.05 から 0.2 メートルというふうに推定をされた
1:59:12	一方で先ほどの熊本地震って言いますと、平均変位速度は 0.2 メートル、1000 年谷横ずれ制度についてですね、単位変位量で言いますと 2.2 メートル。
1:59:24	2010 年長野県北部地震につきましては、導入、平均変位速度は 1 から 3 メートルパー線で大変要は 0.8 メートルというふうにされておまして、
1:59:34	フクダ断層の活動性に比べますと、
1:59:37	ウダ断層の妥当性は、これ熊本地震や、原告後に比べると、十分小さいということがいえるかなと。
1:59:46	思っております。
1:59:47	最後のかぎ括弧のところはこれらを踏まえた形式の仕様についてですが、
1:59:52	このことからですね、
1:59:53	フクダ断層の地震活動における、永久変位というのは地震規模も小さいですし、
1:59:58	太平洋でも小さいということで変位としては小さいというふうに考えられるかなと。
2:00:02	ということで、断層のずれにより生じる影響範囲が地震動である影響は小さいというふうに考えるということで、このレシピアにより評価できるというふうに考えてございます。
2:00:13	最後のポッチは前回もお示しさせていただきましたが、基本震源モデルの説明では安全側にM07.5×10-18 乗に留めてるを考慮してございますので、調査結果から想定する地震に対しては、新規になって、
2:00:30	未来へお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:35	左側につきましては基本震源モデルの設定になります。
2:00:41	こちら変更点といたしましては、二つ目のポチになります。
2:00:45	断層傾斜角につきましては、前回 60.9 と期間を考えておりましたが、
2:00:51	前回の面談等を踏まえまして、反射法地震探査
2:00:55	ですね、等の地質調査結果が 70° であるということを踏まえまして、70° で検討したいなというふうに考えております。
2:01:04	三つ目のポチに正しいと記載しておりますが、関東周辺の、
2:01:09	地質構造の特徴ですとか、ムタご自身の
2:01:13	断層傾斜角が 60° であったというそういった重要な知見もありますので、そういう、そういったものを踏まえて 60° にするということも考えられるかなということでこちらの検討中にしてございます。
2:01:26	それから大きく変わったところページの右側になりますが、
2:01:30	こちら地震動評価の際の不確かさの考慮につきましては、
2:01:35	考慮するパラメーター、一つ目のポチですけども、敷地に及ぼす影響が大きいと考えられるパラメーターとしましては、前回同様アスペリティの応力降下量それから断層傾斜角にしてございます。
2:01:47	前回定額が、工学側の不確かさというのを考慮しておりましたが、僕地質調査結果に基づいた基本モデルを設定してございますので、
2:01:59	不確かさとしては、低角側に断層面が大きくなるようなものとして、
2:02:05	低角側の断層傾斜角の不確かさを考慮しております。
2:02:09	二つ目のかぎ括弧に応答スペクトルに基づく地震動評価と記載しておりますが先ほどの通り、今回の耐専式の適用範囲内ということに見直しましたので、
2:02:18	こちらは耐専式を用いて、評価を行う。
2:02:21	ということにさせていただいております。
2:02:23	結果として表 4 ですけども、基本震源モデルに対して、
2:02:29	アスペリティの応力降下量、それから断層としての不確かさを考慮したケースというこの 3 ケースで、後は評価をするということを考えてございます。
2:02:38	住谷シバですが変更点は、主な変更点は以上になります。
2:02:48	規制庁原田です。ありがとうございました。
2:02:52	規制庁からコメン等、
2:02:55	幾つかありますが、
2:03:02	まず、断層の傾斜角を 70° にされるってということ 60° も考えておられるということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:10	前は 5 がⅡ、ワー、60 から 80 と、余裕を持たせて、
2:03:16	設定するっていう、幅を持たせて設定するという感じだったんですが、今回は 70、或いはもう 60 っていうふうにも、
2:03:26	傾斜角はもう決められるということによろしいでしょうか。
2:03:33	北陸電力山田でございます。はいその通りでございます。
2:03:38	規制庁原田です。わかりました。
2:03:41	あとは、mJですが、
2:03:47	前の面談の時の 5 月 16 日の面談ではMj6.9 ですが、今回はMjが 6.8
2:03:55	となっておりますが、
2:03:57	これは、その希望が
2:04:00	小さくなった理由っていうのは、
2:04:04	等について説明してください。
2:04:09	はい、北陸電力山田でございます。
2:04:11	すいません説明できてございませんでしたが規模については 2 ページ目のですね、
2:04:16	左側、
2:04:20	五つ目のポチに記載をさせていただきます。
2:04:25	ちょっと 2 行目ですかね。
2:04:28	審査ガイドを踏まえ、地震アセスを飽和する断層面ということで、
2:04:33	断層長さや断層幅、説明としては地震発生層が 3 から 18 キロメートルになってございますので、それに対して基本震源モデルの傾斜角 70° をコードしますと、断層幅が 16 キロメートルになる。
2:04:48	ということです。
2:04:49	新設を飽和する断層面としては正方形の形状としては幅 16 キロメートルと、断層長さが 16 メートルということになりますので、
2:05:00	こちらの 16 キロメートルからMj6.8 というふうの評価をさせていただいておまして、考え方としては前回と
2:05:07	前回と伺ってございます。
2:05:10	以上です。
2:05:11	規制庁原田です。
2:05:13	ということは、幅が狭まったので前ノロ、Mj6.9 のところから、断層長さを伸ばすっていうことはなくて、断層長さは、
2:05:25	固定したままでっていいことですか。
2:05:32	基本震源モデルのmJ。
2:05:35	ですね、についてはそのような設定を考えてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:38	一方で資料にも記載させていただいておりますが断層モデルの評価におきましては、アンゼンガワニM0を、
2:05:45	7.5×10 ⁻¹⁰ 823メートルにするということを考えてございますので、こちらの方では資料2ページの右側の表にですね断層長さとしては、
2:05:56	23キロというものを考慮する。
2:05:59	いうことを考えてございます。
2:06:01	以上です。
2:06:03	規制庁原田です。そしたらこちらのその安全課のモデルだとMJは、
2:06:09	6.9とか、それ前と変わらずってということになるんですかね。
2:06:23	北陸電力の徳田です。基本震源モデルのmJの
2:06:29	今、今現時点での考え方当社の考え方としましては、まずは今ほどアノヤマダがちょっと説明をさせていただきました通り、
2:06:40	まず断層幅、新地震発生層を飽和スルー、断層面、
2:06:45	というものをベースに、Mjを設定するのが合理的ではないかというふうなことを考えまして、今回のようなアノを設定方法とさせて
2:06:54	いただいております
2:06:56	今回断層傾斜角 70° としてございますので、そうすると断層幅 16 キロ線に同じ、等しい長さの断層長さを設定するというので 16 キロから、
2:07:06	マツダ 1975。
2:07:08	換算すると 6.8。
2:07:10	前回は断層傾斜角が 60° ということでございましたのでそうすると断層幅は 17.3 キロ、
2:07:17	断層長さも 17.3 キロということで同じようにマツダで考慮すると 6.9 というところで、ちょっとその違いがあったというところにあるというところになります。一方でやっぱり
2:07:27	をする断層モデルでの地震動評価をするっていった場合には、スケーリングの折れ点というところで、7.5×10 ⁻¹⁰ 80 ニュートンメートルっていう知見もございますので
2:07:40	そこまで拡張した方がよからうそれに相応する、あそこもそこまでの地震モーメントを考慮しましょうということで、それに言いたいと対応する断層面積を設定しようということで、
2:07:52	今回 70° の場合ですと断層長さが 20、
2:07:56	いうように設定しているというところになります。がちょっとこの辺りは確かにちょっとわかりにくいとかそういうところございますのでここはまです

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いませんちょっとまだ検討段階というところになりますので、今後さらにちょっと検討の方、
2:08:08	ですとか整理の方はちょっと進めていきたいというふうに考えているところになります。
2:08:12	以上です。町長議長規制庁原田です。わかりました。このmJは、大成しきい応答スペクトル出す時にこれMJ、
2:08:26	のこの例えば耐専式の適用検討とかでmJは、
2:08:30	あって、このMD等、実際に安全側に想定される。
2:08:35	長さは長さ 23 キロの、
2:08:39	そっちの方の、
2:08:41	大きな方のmJじゃない方のmJ
2:08:45	等ちょっとこう、
2:08:46	0.1 ですけど、そこが出るとか、そういうのもあるので、ちょっと検討の方をお願いします。
2:08:57	北陸電力徳田です。その他に十分承知してございますのでまた今後引き続き検討整理の方をちょっと進めていきたいというふうに考えています。以上です。
2:09:08	規制庁から他、
2:09:12	海田です。ちょっと今MJの話が出たのMjのところをまず確認させてください。細かいところかもしれないんですけど、
2:09:22	2 ページ目の、さっきの 5 ポツ目で、
2:09:27	地質調査結果から想定すると。
2:09:31	3、最大 6.2。
2:09:34	ということが書いてあってこれは、
2:09:36	どうやって求めたのかっていうと、
2:09:39	地表断層長さからMwでさらにそこからMJでここ、幾つか二つスターリングと竹村と書いてあるんですけど、
2:09:49	これ 6.2 っていうのは、
2:09:52	あれですか、地表断層の長さから、まず、
2:09:55	どうやってMwを求め、
2:09:58	だとかちょっとこの 6.2 っていうのはどこから出てきたのかちょっと。
2:10:03	教えて。
2:10:04	いただけますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:07	あ、北陸電力、山田です詳細説明できていなくて申し訳ございません。このMj6.2 につきましてはこの括弧書きに書いてある通りでございますが、この地表断層長さNWを関連づける評価式ですね経験式、
2:10:23	こういったものでスターリンベップR2002 ですけども、こちらの方から調査結果の長さ 3.2 キロメートルから推定されるMwをまず算出しております
2:10:34	このMwをもとに、またキムラ 190 でMjを算定したということでございます。
2:10:42	地表断層長さMWの関係式はいくつかありますので、そういったものを見た中でも、大きいものを今回、記載させていただいたということで最大でも、J6.2 というふうに記載をさせていただいております。
2:10:54	以上です。
2:10:57	はい。海田です。
2:11:00	地表断層の長さからMwの関係式で、
2:11:06	Mwを出してそれから
2:11:08	竹村で、
2:11:11	mJに帰ったら 6.2 とか、
2:11:14	そういうことですねマツダ式、その前のページ行くと、
2:11:22	フクハラ断層の地表調査結果っていうところで、
2:11:28	Mw5.9。
2:11:30	カッコ 6.2 これがそこに今対応してるってことですかね。Mwは 5.9 でmJが 6.2 だったという、そういうことでしょうか。
2:11:43	堀井電力内でございます。こちら今ほどご説明したものと同じになっておりまして、Mwでいうと 5.9。
2:11:52	平成 26.2 というところを一緒になってございます。以上です。
2:11:57	はい。海田です。わかりました。
2:12:03	そうすると単純にマツダ式から求めたMJっていうのはこの資料では、どっか書いてあるのか書いてないのか。
2:12:12	教えて、どこどこ。
2:12:14	あるんですかね。すいません。北陸電力の徳田でございますけども、すいません今野海田さんのご質問の趣旨を
2:12:22	調査長さ 3.2 キロからマツダ 1975 を返して出したmJについての記載があるかないかという、そういう、
2:12:30	質問の趣旨でよかったでしょうか。はいそうです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:35	それに関しましては今回記載はしてございませんやはり断層長さ 3.2 キロというところになりますと、マツダ 1975 というものが使えるか使えないのかというところの議論になりまして
2:12:48	今のところ当社ですと、この 3.29 というこういう短い長さでは、マツダの方というのは評価できないというような判断をちょっとしてございますので、今回あえて記載していないという
2:12:59	以上です。
2:13:01	海田です。わかりました
2:13:03	その辺がちょっとわかんなくて今おっしゃったように、
2:13:08	マツダっていうのは 10 キロとか、そこら以上のものを使って、
2:13:13	このMJっていうのは一体どうやって出したのかなっていうところが、
2:13:18	細かい話ですけど、わかりづらかったので、その点わかりました。
2:13:25	あともう一つ、1 ページ目なんですけど、このグラフの中に軽水
2:13:31	ナンバー123 っていうのが、志賀のサイトっていうのがあって、
2:13:36	このケース 123 っていうのは、この資料でいうと、
2:13:40	どれなんでしょうか次のページの、
2:13:43	123 とも違うような気もして、教えていただけますでしょうか。
2:13:52	あ、北陸電力山田でございます。
2:13:54	1 ページ目の図に書いてあるケースNo. 123 はですね、これは 2 ページの、
2:14:02	右側の表 4 のこのケースナンバーと対応しております。
2:14:07	すいません、わかりづらくて申し訳ございません。
2:14:10	以上です。海田です。
2:14:13	わかりました個票さんじゃなくて表 4 の方の、
2:14:18	123 ですねわかりましたじゃその点は、
2:14:23	疑問点はわかりました。
2:14:27	それとあと、
2:14:30	さっき
2:14:31	ちょっと説明あったんですけど、60 度っていうのをかなり
2:14:36	前回までの審査会合で、
2:14:39	5、
2:14:41	強調されてたというか妥当性を今後説明していくという話で 72 変わったっていうのは、今後地震動評価もずっと 70 でされるっていうことなんですかそれとも今回のこの検討、
2:14:53	2 限ってという話なのか教えていただけますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:58	北陸電力の徳田です。まだちょっと最終的に断層傾斜角をどうしようかというところ資料の2ページ目の左側の通り、
2:15:08	ちょっとまだ検討中っていうところはあるんですけども、今のところここ、
2:15:12	地震動評価、今回の検討だけではなくて、この福浦断層につきましてはその地震動評価をするにあたっては、
2:15:20	基本震源モデルとしての断層傾斜角を70°の方に設定しようかという方向でちょっと検討しているというところになります。
2:15:29	以上です。
2:15:33	海田です。
2:15:35	それというのは、
2:15:39	前回までは60度ってするんだったらちゃんとか説明をということで、コメントの回答とかをしていただいて72、やはり70の方が、
2:15:51	妥当であるというそういうコメントに対する対応という、そういうことでしょうかさっきちょっとそういったこともちらっと仰ってたような、
2:16:00	気がしたんですけども。
2:16:04	北陸電力の徳田です。そうですね地質の方でのコメントもそうですしこちらの多分、裏の評価方針の方、
2:16:15	この資料を説明させていただいたときにも多分コメントあったかと思いますが、やはり調査断層傾斜角を設定するにあたって、どのデータを重視するんだというところは
2:16:25	はっきりしないといけないというような趣旨のコメント等も、これまであった当座あったと思っていますので、ちょっと我々の方も一度詳細にちょっと検討した上で、やはりフクダ断層のところでも直接出られた、
2:16:38	データですね、そういったものを重視すべきではないかというようなふうにも今ちょっと考えているところでもございまして、そういうところで断層傾斜の基本震源モデルは70度に、
2:16:49	必要かというところで考えているところになります。以上です。
2:16:54	海田です。
2:16:55	わかりましたアノ所、今の状況。
2:17:00	確認できました。
2:17:02	それとあともう体制式の話ですけど、これ申請書では適用範囲外だということで、5月の面談の時では範囲外だけど、アンゼンガワニ。
2:17:17	こっちも評価しますというようなニュアンスでした。
2:17:20	今回は、
2:17:21	範囲内というような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:24	形になったんですけど、
2:17:29	単純にどこが変わったのでは範囲内になったっていうふうな評価になったのかという、そこを教えてくださいませんか。
2:17:37	北陸電力山田でございます。1 ページ目の図になりますけども、
2:17:43	前回当社としては
2:17:46	耐専式の策定に用いられたデータとの乖離ということで、図中■と白抜四角との乖離というところに着目して、
2:17:57	検討してございました新生児も同様でございます
2:18:00	一方で最近の審査動向等を踏まえますと、かなり耐専式の適用性というのは明確になってきたかなというところで、具体的なグレーの四角ですね、こういったものと、
2:18:11	極近距離との乖離というところを踏まえて、当社の藤断層の諸元は三角になりますけども、こういったグレーの
2:18:22	3 四角と、
2:18:23	極近距離との関係というものと当社の参画を一応踏まえて、今回耐専式を適用するというので、考えてございます。
2:18:33	以上です。
2:18:35	は海田です。あ、わかりましたじゃその元のデータを見、
2:18:40	データセットというか、
2:18:43	適用検討のてき、データを見て、変えたというのも考慮したということ。
2:18:49	だと思っんですけど。
2:18:50	そうした時に先ほど来、確認してるMJが 6.8 になったとか、
2:18:57	傾斜角が 72 度になったからとかそそっちは全く影響はなくて、以前のパラメーターでも同じような評価になるという、そういったことでしょうか。
2:19:13	はい。北陸電力の徳田でございます。12 の方に、今回、
2:19:19	評価したMJでの評価結果の検討結果を記載してございますけども具体的ですとケース 12 ですと赤三角でこれはMj6.8。
2:19:30	ケース 3 ですと緑三角でMj7.1 ということで今回プロットさせていただいておりますけども例えばケース 1 の方ですね、前回の評価ですとMj 6.9。
2:19:43	となっておりますし、すると今後ももうちょっと上振れするかもしれませんが、そういったところを踏まえても、先ほど山田が説明しました通り、先行サイトの審査実績、
2:19:54	色をマルですとか、
2:19:58	震源近傍の、耐専式を策定する上で確認したグレーの四角ですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:04	震源近傍の適用性
2:20:06	の検討記録、こういったものと評価しましても比べましても耐専式の適用範囲にあるというところは、位置付けがちょっと変わらないものだろうというふうに判断しているところになります。
2:20:18	以上です
2:20:21	海田です。わかりましたじゃこのデータが変わっパラメーターが変わったからっていうわけではないっていうことですね。
2:20:31	はい。そこは、今のお考えはわかりました。
2:20:37	それと
2:20:41	1 ページ目左の、
2:20:44	1 の一番最初のポツですね
2:20:48	ABCと、この三つを考慮しますよという、
2:20:53	ことなんですけれども。
2:20:57	等、
2:21:01	ここに例えば、下に潜り込んでるんだとか、
2:21:07	地表距離だけなんですけど下に潜り込んでる。
2:21:12	か否かとか、
2:21:14	断層の不均質性とか、そういったのは特に心はなくて、このABCっていうのを、
2:21:23	総合的な判断、
2:21:25	これだけということ。
2:21:27	でしょうか。今考えられてるのは、
2:21:34	北陸電力の徳田でございます。ここで先行サイトの審査実施実績というふうに
2:21:41	書かせて、記載させていただきますけども、これまで私たちの目で先行サイトの審査実績を城規制庁さんが審査されてる実績を踏まえると、
2:21:52	この三つの地表、ABCの三つの指標で、
2:21:55	震源が敷地に極めて近い場合に該当するかしないかっていうところの判断をなされてるのかなっていうふうに判断をしまして、今回この三つというところに、
2:22:07	にお示し、三つの指標を示しているところになります。
2:22:12	今ほどアノ海田さんがご質問ありました断層の向きですねサイトウの方に向かってきているのかですとかサイトから離れていってるのかですとかあと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:23	その断層の不均質性とかそういったところにつきましては、僕は震源距離という値で評価できるのかなというふうに考えてございますので、あとは震源距離で判断するっていうところはイコール、
2:22:35	Cポチの耐専式の適用範囲内。
2:22:38	で判断するというところで耐専式が適用をできるということであれば、その辺りの課題というかご懸念というのはクリアできるのかなというふうに当社としては考えているところに、
2:22:50	あります。
2:22:51	このABCの三つのほかについていうところになりますとBポチの地震規模のちょっと補完になるかもしれませんけども今回1ページ目の右側の方となりますけども、
2:23:03	調査結果からですね、単位量というのを十分小さいというところ。
2:23:08	をもってして、ちょっとプラスアルファになるかなというところで今回、
2:23:13	1ページ目の右側の方の調査結果を踏まえた検討を追加させていただいたということになります。以上です。
2:23:22	海田ですはい、わかりました。今の現状のお考えはわかりました。
2:23:28	今、地質調査結果、右側のところで、今地震規模が小さい妻すなわち、
2:23:37	大変医療が小さいというところは今のお話で、
2:23:42	出てきた話だと思うんですけど、
2:23:45	その下に、活動度の話も書いてあってこれは何か何の判断に関係してるんでしょうか、活動動は。
2:23:56	もう考慮に入ってますか。
2:24:05	北陸電力の徳田です。今海田さんおっしゃられました活動度というところを
2:24:12	1の(2)の
2:24:14	四つ目のポチですかね変位変数、平均変位速度をとかこの辺りのことをおっしゃられてますでしょうか。
2:24:22	配送で平均変位速度1000年当たりどのぐらいという値です。はい。
2:24:29	了解。北陸電力徳田です。了解いたしましたこちらにつきましては基本的には単位変位量で、ちょっと差別化をしたいなというところで、
2:24:40	浦断層についての単位変位量と、あと、地表に
2:24:45	明確に永久変位が出た。
2:24:48	2016年の熊本地震ですとか2014年の長野県北部地震、こういったものにつきましてまずはベースは単位変位量が全然違いますよねっていうところをまず主張する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:59	をすることを考えてるんですけども、それにプラスアルファしまして平均変位速度ですね、こういったものも比べることで、今回
2:25:08	私たちの課題となってます福浦断層というものと、あと地表に明確に、
2:25:14	永久変位が出た熊本地震の北川断層大ですとか、2014年の地震のカミヤ断層、こういったものについて、平均速度、そういったものを見ても十分に
2:25:26	やはりちょっとキャラクターというか特性が違うんじゃないかというところを補完する意味で今回、平均変位速度というものを、あわせてお示したところになります。
2:25:35	以上です。
2:25:38	はい甲斐です。わかりましたじゃ
2:25:41	直接的ではないけどそういった背景を説明するっていうところに、
2:25:48	そういった基礎データだということで、
2:25:51	わかりました。
2:25:54	私からはちょっと、
2:25:57	確認したいところひとまず以上です。
2:26:01	はい。
2:26:05	規制庁から整理ありますか。
2:26:15	規制庁野田ですけど、もうちょっと時間が大分過ぎちゃっているんで、端的に3点、まず1点目は、1点目と2点目は、金。
2:26:26	全部から今後に向けてなんですけど、おそらくですね1点目は、
2:26:31	そうですね3-2ページですかね、3-2ページで、基本震源モデルの設定のところ、少しそのパラメータの話が出たかと思うんです。mJとか、地震モーメントとか、
2:26:42	あとは断層長さとか幅とか、多分こういうところは少し
2:26:48	参考資料が必要かなと思うんですよね。つまり、断層長さから、なぜ、松田式じゃなくて、スターリンであったり、竹村を使って、
2:27:00	Mwを出してMjを出してるかとか、そういう設定のちょっと、プロ計算の形成計算とかそれぞれのパラメータの算出の過程ですね過程、どういった手法を
2:27:13	どういった理由で用いているかっていう、そういうのがないと多分こういう、何ですかね細かい事実確認が永遠と続くんじゃないかと思っていて、私はそれはあんまり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:23	効率的じゃないかなと思うんでどっちにしろもうこれは確認せざるをえないものなんで、もうこういったものは、カミデ参考として出してもらえればと思います。
2:27:33	それが1点目です。あと2点目は、これも今の時、事実確認というか、少し確認とも関連してくるんですけど、おそらくですね、申請時のもの、
2:27:44	今のパラメータとか考え方なんですけど、申請時で、我々1回、5月の18日だったかな、資料自体は5月16日のものを、面談で説明を受けていて、今回7日間、
2:27:57	次回なのか、一番右は主、
2:28:03	最新のものっていう意味なんですけど、多分ですね、
2:28:08	メーターだったり、パラメパラメータの変更の変遷ですね、新旧
2:28:15	鍼灸ちゅうのかな、修正だったり追加だったり、そういうところはもう、
2:28:21	申請書から
2:28:23	の変遷を整理したものを出示してもらった方が、
2:28:28	話が早いんじゃないかと思っていちゃ別に、なければ我々、今みたいに、逐一全部事実確認していくことになっていて、なっていくこと。
2:28:39	なくなっていくこと、いくと思うんですけど、それはさっきのパラメータと同じで、あんまり効率的じゃないかと思うんで、そういったものを参考資料で準備していただければと。
2:28:51	思いますし、その際にはこれが3点目なんですけどさっき、海田さんの方から
2:28:58	震源断層面と、当サイトとの
2:29:02	関係ですね潜り込み。
2:29:05	のあるなしやとか、あとは断層面の付近性、こういったところは、等価震源距離で見ますっていうお話だったんですけど、そういったことも少し幅広に、この
2:29:16	方、評価方針の中に入れてもらえればと思っているんですけど、この3点、いかがですか。パラメーターの話、申請時から、
2:29:27	5月を介して、今回までのこの考え方、パラメータの変更の変遷、あと最後は、こういう等価震源距離で見てるんであれば、潜り込みの関係とか、不均質性もこういった、
2:29:40	評価方針の中に入れてもらいたいと考えておるんですけど、この点いかがですか
2:29:45	北陸電力の徳田です。福田さんいろいろご指摘ありがとうございます。最初の①②ですね緒元ですとか申請者からの変更点、確かにそういつ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	たところはすいませんちょっと配慮が足らずに大変今回申し訳ございませんでした。
2:29:59	この辺りですね算定根拠ですとか、変更点がわかる資料、こういったところを今後
2:30:06	保護者、また面談資料か何かのところでまたまとめさせていただきますし注記もさせていただきたいと思います。また最後の、断層の傾斜ですとか均質性ですね、こういったところ、
2:30:18	以前もしかしたらの断面図もつけてたかもしれませんがともそういったものをつけるですとかあと、左側ですね1の1ページ目のところの
2:30:28	これABCの3要素ですとかこういったところにも絡めまして断層の傾斜ですとか不均質性そういったものだとか震源距離に反映されてます。そういったところに記載の充実をちょっと本させていただければというふうに思っております。以上です。
2:30:44	規制庁野田です徳田さんありがとうございます。ぜひそういった準備をしていただいた方が、こういった細かい事実関係を我々も把握した上で、じゃあ、この福浦の地震動評価、
2:30:58	これまでの我々の審査実績を踏まえた上で、基準ガイドとの関係で、こういった方針でやっていくのがいいかというところが、
2:31:08	の確認ができるかと思えますんで、ぜひ次回の面談に向けては、今お伝えした3点ですね、これが多分今、事実か、ちょっと少し確認したことをすべて包含してるかと思えますんで、
2:31:21	そういった資料の準備をお願いできればと思います。私からは以上です。
2:31:28	を、
2:31:29	規制庁から他ありませんか。
2:31:34	それでは、以上で規制庁からのコメントは以上になります。北陸電力さんから何かコメント等ありますか。
2:31:44	堀部北陸電力徳田です。長時間にわたりありがとうございます。こちらからも特にございません。以上です。
2:31:51	規制庁原田です。承知しました。それでは本日の面談を終了いたします。どうもありがとうございました。
2:31:58	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。